

令和4年度みえ森と緑の県民税基金事業の評価結果

目 次

- (1) 評価の種類とその内容及び点数・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2) 事前評価における評価視点毎の評価点及び評価別事業数・・・・ 1
- (3) 事業別事前評価の集計結果一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (4) みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業の
対策区分別事前評価集計結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (5) 市町別総合評価の事前評価集計結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

1. 令和4年度みえ森と緑の県民税 事前評価の集計結果

(1) 評価の種類とその内容及び点数

評価委員の評価と内容

内 容	評価
取組が特に優れている	4
取組が妥当である	3
取組は妥当であるが さらに工夫が必要である	2
現状の取組に 改善が必要である	1

評価委員会の評価と内容

平均値による 評価基準		内 容
$3.5 \leq X \leq 4.0$	A	取組が特に優れている
$2.9 \leq X < 3.5$	B	取組が妥当である
$1.9 \leq X < 2.9$	C	取組は妥当であるが さらに工夫が必要である
$1.0 \leq X < 1.9$	D	現状の取組に改善が必要である

判定の集計方法

- 10名の委員を3班に分け、班ごとに分担した事業について評価を行い、各班の委員の判定（点数）を合計し、平均値をとります。

※みえ森と緑の県民税基金積立金事業、みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業、みえ森と緑の県民税制度運営事業については、10名の委員全員が評価を行い、その平均値をとります。

- 平均値（右表）により、判定（A～D）を決定します。

(2) 事前評価における評価視点毎の評価点及び評価別事業数

評価	評価点 (点)	事業数（事業）			
		有効性	効率性	公益性	情報発信度
A	4.0	1 (3)			2 (0)
	3.9				
	3.8	3 (2)	1 (0)		1 (0)
	3.7	19 (7)	31 (0)	39 (2)	17 (2)
	3.6				
	3.5	20 (10)	1 (4)	4 (2)	2 (0)
	A評価計	43 (22)	33 (4)	43 (4)	22 (2)
B	3.4	1 (0)		3 (0)	
	3.3	65 (65)	48 (30)	56 (56)	50 (37)
	3.2	1 (0)	1 (0)		3 (0)
	3.1			0 (1)	
	3.0	20 (44)	43 (81)	25 (62)	36 (65)
	2.9				0 (1)
	B評価計	87 (109)	92 (111)	84 (119)	89 (103)
C	2.8	0 (1)	2 (7)	0 (1)	2 (17)
	2.7	5 (3)	8 (13)	7 (9)	17 (11)
	2.6				
	2.5				
	2.4				
	2.3		0 (0)	1 (2)	4 (2)
	2.2				
	2.1				
	2.0				1 (0)
	C評価計	5 (4)	10 (20)	8 (12)	24 (30)
事業数計	135 (135)	135 (135)	135 (135)	135 (135)	

※（ ）内は、令和3年度事業の評価別事業数

(3) 事業別事前評価の集計結果一覧

事業名		有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	みえ森と緑の県民税基金積立事業	3.3	B	3.3	B	3.4	B	3.2	B
2-ア	災害緩衝林整備事業	3.3	B	3.7	A↑	3.7	A↑	3.7	A↑
3	森林情報基盤整備事業	3.7	A↑	3.7	A↑	3.7	A↑	4.0	A↑
4-ア	森林教育体制整備事業	3.8	A↑	3.3	B↑	3.5	A↑	3.3	B↑
4-イ	みえ森づくりサポートセンター運営事業	3.5	A↑	3.3	B↑	3.5	A↑	3.3	B↑
4-ウ	森林教育施設整備事業	3.5	A↑	3.3	B	3.3	B	3.3	B↑
5	生物多様性推進事業	3.0	B	3.0	B↑	3.0	B	3.0	B↑
6	森林とふれあう自然公園環境整備事業	3.0	B	2.7	C↓	2.7	C	3.0	B
7-ア-a	流域防災機能強化対策事業	3.7	A↑	3.7	A↑	3.7	A↑	3.7	A↑
7-ア-b	森林再生力強化対策事業	3.3	B	3.7	A↑	3.7	A↑	3.7	A↑
7-イ-a	災害からライフラインを守る 事前伐採事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
7-ウ	みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業	3.4	B↑	3.2	B↑	3.4	B↑	3.2	B↑
8	みえ森と緑の県民税制度運営事業	3.2	B	3.3	B	3.4	B	3.2	B

※↑は、昨年度から評価が上がった事業を、↓は、昨年度から評価が下がった事業を示しています。

(4) 令和4年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業対策区分別事前評価の集計結果

みえ森と緑の県民税 対策区分1：土砂や流木による被害を出さない森林づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
津市	津市林地残材搬出促進事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	2.8	C
度会町	流倒木撤去事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
大紀町	渓流倒木等処理事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.0	B
紀北町	河川周辺森林立枯木整備事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.3	B

みえ森と緑の県民税 対策区分2：暮らしに身近な森林づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
四日市市	小学校支障木伐採業務委託	3.3	B	3.3	B	3.7	A	3.7	A
四日市市	中学校支障木伐採業務委託	3.3	B	3.3	B	3.7	A	3.7	A
四日市市	都市公園危険木処理事業	3.3	B	3.3	B	3.7	A	3.7	A
四日市市	里山・竹林環境保全支援事業	3.3	B	3.7	A	3.3	B	3.3	B
四日市市	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.0	B	3.0	B	3.7	A	3.3	B
鈴鹿市	暮らしを守る森林保全事業	3.3	B	3.7	A	3.7	A	3.7	A
鈴鹿市	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.7	A	3.7	A	3.7	A
亀山市	集落周辺の森林整備事業（危険木等の伐採）	3.3	B	3.0	B	3.7	A	3.3	B
亀山市	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.7	A	3.7	A	3.3	B
いなべ市	危険木の除去事業	3.7	A	3.7	A	3.7	A	3.0	B
いなべ市	危険木の除去事業（主要道路）	3.3	B	3.0	B	3.7	A	3.3	B
いなべ市	里山竹林環境保全支援事業	3.0	B	3.3	B	3.3	B	3.3	B
木曾岬町	暮らしを守る緑保全事業	3.3	B	3.7	A	3.7	A	3.0	B

みえ森と緑の県民税 対策区分2：暮らしに身近な森林づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
東員町	危険木伐倒等業務	3.3	B	3.7	A	3.7	A	3.3	B
菰野町	病虫害被害木伐採搬出事業	3.3	B	3.3	B	3.7	A	4.0	A
菰野町	危険樹木伐採事業	3.3	B	3.3	B	3.7	A	3.3	B
朝日町	里山・竹林環境保全支援事業（あさひ竹プロジェクト）	3.7	A	3.7	A	3.3	B	3.3	B
朝日町	里山・竹林環境保全用機器貸出事業（あさひ竹プロジェクト）	3.3	B	3.7	A	3.7	A	3.0	B
津市	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.3	B
津市	竹林整備支援事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
松阪市	里山の森林安全安心対策事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
松阪市	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
多気町	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
明和町	松林整備事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	2.3	C
大台町	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.3	B
大台町	集落周辺等危険木伐採事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
伊勢市	森林整備事業	3.3	B	3.3	B	3.5	A	3.0	B
伊勢市	危険木伐採事業	3.3	B	3.3	B	3.5	A	3.3	B
鳥羽市	危険木伐採事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.3	B
鳥羽市	危険木伐採事業費補助金事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.3	B
志摩市	災害に強い森林づくり事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
志摩市	松くい虫防除事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B

みえ森と緑の県民税 対策区分2：暮らしに身近な森林づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
度会町	危険木伐採事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.0	B
度会町	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.5	A
大紀町	生活環境林整備事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
南伊勢町	危険木除去事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
名張市	危険木伐採事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
名張市	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	3.0	B	3.0	B	2.3	C	2.0	C
名張市	人家裏危険木伐採事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B
名張市	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
伊賀市	みんなの里山整備活動推進事業	3.7	A	2.7	C	3.0	B	3.3	B
伊賀市	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	3.0	B	2.7	C	2.7	C	3.0	B
尾鷲市	人家裏危険木伐採事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
尾鷲市	矢浜公園ほか整備事業	3.8	A	3.8	A	3.3	B	3.3	B
紀北町	危険木伐採事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.3	B
紀北町	集落周辺森林（里山）整備事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.3	B
熊野市	小・中学校危険木伐採・枝切事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
御浜町	学校危険木伐採事業	3.7	A	3.0	B	3.0	B	3.0	B
御浜町	町道危険木伐採事業	3.3	B	2.7	C	3.0	B	2.7	C
紀宝町	生活環境林整備事業	3.0	B	3.3	B	3.0	B	3.0	B

みえ森と緑の県民税 対策区分3：森を育む人づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
鈴鹿市	森林環境教育支援事業	3.7	A	3.7	A	3.7	A	3.3	B
鈴鹿市	緑に親しむ記念樹贈呈事業	4.0	A	3.7	A	3.7	A	3.7	A
鈴鹿市	森と緑の生涯学習事業	3.7	A	3.7	A	3.7	A	3.7	A
亀山市	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）	3.7	A	3.7	A	3.7	A	3.7	A
いなべ市	中学校卒業記念品配布事業	3.3	B	3.7	A	3.7	A	3.3	B
いなべ市	森林環境教育支援事業	3.7	A	3.7	A	3.7	A	3.3	B
木曽岬町	森林環境教育事業	3.7	A	3.7	A	3.7	A	3.3	B
東員町	森林教育授業	3.7	A	3.7	A	3.7	A	3.7	A
朝日町	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）	3.7	A	3.7	A	3.3	B	3.7	A
川越町	川越中学校自然教室	3.5	A	3.0	B	3.3	B	3.3	B
川越町	川越北小学校自然教室	3.5	A	3.0	B	3.3	B	3.3	B
川越町	川越南小学校自然教室	3.5	A	3.0	B	3.3	B	3.3	B
津市	津市森林環境教育事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.5	A
津市	美里水源の森「林業体験」事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	3.3	B
松阪市	森林環境学習事業	2.7	C	3.0	B	2.7	C	2.7	C
松阪市	松阪の木魅力発信活動事業	3.3	B	3.0	B	2.7	C	2.7	C
多気町	木とふれあう教育支援事業	2.7	C	3.0	B	2.7	C	2.7	C
明和町	木育事業	2.7	C	2.7	C	2.7	C	2.3	C
大台町	森林環境教育事業	3.7	A	3.0	B	3.7	A	3.3	B

みえ森と緑の県民税 対策区分3：森を育む人づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
志摩市	森と緑ふれあい事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.3	B
玉城町	森林環境教育・木育事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.3	B
度会町	森林環境教育推進事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.8	A
南伊勢町	森林環境教育事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.0	B
名張市	森林環境教育推進事業	3.3	B	2.7	C	3.3	B	2.7	C
伊賀市	木づかい木育推進事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
伊賀市	伊賀の森っこ育成推進事業	3.7	A	3.0	B	3.0	B	3.0	B
伊賀市	地域の森と緑のつながり支援事業	2.7	C	3.0	B	3.0	B	2.7	C
伊賀市	森のやすらぎ空間整備事業（伊賀の木活用人材育成）	3.3	B	2.7	C	3.0	B	3.0	B
紀北町	森林環境教育活動支援事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.3	B
紀宝町	森と緑の環境教育事業	2.7	C	3.0	B	2.7	C	2.7	C

みえ森と緑の県民税 対策区分4：森と人をつなぐ学びの場づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
四日市市	市民活動センター運営事業	3.0	B	3.7	A	3.7	A	3.3	B
四日市市	一般備品整備事業（小学校）	3.3	B	3.3	B	3.7	A	3.7	A
四日市市	一般備品整備事業（中学校）	3.3	B	3.3	B	3.7	A	3.7	A
亀山市	森と木材のふれあい事業（木とふれあう）	3.7	A	3.7	A	3.7	A	3.3	B
亀山市	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（森林公園やまびこ）	3.3	B	3.3	B	3.7	A	3.3	B
亀山市	亀山市立図書館備品等整備事業	3.3	B	3.7	A	3.7	A	3.0	B

みえ森と緑の県民税 対策区分4：森と人をつなぐ学びの場づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
東員町	教育施設等の備品等購入	3.3	B	3.7	A	3.7	A	3.3	B
菰野町	幼児期から木に親しむ木育推進事業	3.3	B	3.7	A	3.7	A	3.3	B
朝日町	森と緑とふれあう環境づくり事業 (幼保一体化施設)	3.0	B	3.0	B	3.7	A	3.3	B
川越町	川越北小学校図書室机・椅子等整備 事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
川越町	川越町あいあいホール改修事業	3.3	B	2.8	C	3.3	B	2.8	C
津市	子育て支援センターにおける木育環 境整備事業	3.8	A	2.8	C	3.3	B	3.3	B
松阪市	保育園木育推進事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.3	C
多気町	木とふれあう環境づくり事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.3	C
明和町	学校木製備品購入事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
伊勢市	二見地区総合園整備事業	3.5	A	3.5	A	3.3	B	3.3	B
志摩市	観光農園木製備品購入	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
玉城町	公共施設整備事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.3	B
度会町	木材とふれあう場づくり推進事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.3	B
南伊勢町	南勢保育園・南伊勢図書室木製備品 購入事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
名張市	県産材に親しむことができる木育推 進事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
名張市	学校林整備事業	3.3	B	3.3	B	3.0	B	2.7	C
尾鷲市	木とふれあう学校環境づくり事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.3	B
尾鷲市	尾鷲中学校学習机・椅子整備事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.3	B

みえ森と緑の県民税 対策区分5：地域の身近な水や緑の環境づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
桑名市	播磨2号緑地里山整備事業	3.3	B	3.7	A	3.7	A	3.7	A
鈴鹿市	深谷公園里山保全事業	3.3	B	3.7	A	3.7	A	3.7	A
鈴鹿市	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業	3.3	B	3.7	A	3.3	B	3.3	B
鈴鹿市	緑と人を育む 長太の大楠再生プロジェクト	3.3	B	3.7	A	3.3	B	3.3	B
松阪市	都市公園整備事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	2.7	C
松阪市	文化財センター施設整備事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
志摩市	創造の森横山遊歩道整備事業	3.0	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
名張市	森林公園等環境活用整備事業	3.7	A	3.3	B	3.3	B	3.0	B
名張市	桜並木保全管理事業	3.7	A	3.0	B	3.3	B	3.0	B
名張市	無形民俗文化財保全事業	3.7	A	3.0	B	3.3	B	3.3	B
尾鷲市	中村山公園整備事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
熊野市	森とふれあいの場拠点づくり事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
御浜町	森林公園等環境整備事業	3.3	B	2.7	C	3.0	B	2.7	C
紀宝町	クマノザクラ整備事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	2.7	C

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業

市町別総合評価の事前評価集計結果

令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

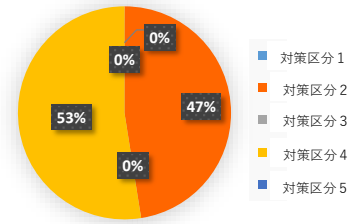
市町名	四日市市	三重県
人口(人)	310,255	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	12.8%	12.4%
森林面積(ha)	2,865.41	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	2,557.33	348,833.49
森林率(%)	14.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	10.1	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	小学校支障木伐採業務委託	3,388,000	3,388,000		3,388,000				
2	2	中学校支障木伐採業務委託	4,151,400	4,151,400		4,151,400				
3	2	都市公園危険木処理事業	4,394,500	4,394,500		4,394,500				
4	2	里山・竹林環境保全支援事業	1,623,653	1,206,000		1,206,000				
5	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	9,798,800	2,449,700		2,449,700				
6	4	市民活動センター運営事業	929,500	929,500				929,500		
7	4	一般備品整備事業(小学校)	7,032,520	7,032,520				7,032,520		
8	4	一般備品整備事業(中学校)	9,270,030	9,270,030				9,270,030		
計			40,588,403	32,821,650	0	15,589,600	0	17,232,050	0	0

3. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	<p>本市は、東側に伊勢湾、西側に鈴鹿山脈に接し伊勢湾沿いには石油化学工業等の発達した中核都市です。四日市市総合計画の基本構想で「環境・防災先進都市」を将来都市像の一つに位置付けており、公害の歴史と教訓から、豊かな環境を基本とした都市整備と、防災力強化を両軸に、快適性と安全・安心が高い水準で保たれたまちづくりを目指しています。</p> <p>みえ森と緑の県民税市町交付金を活用することにより、都市公園や地域の里山や竹林を整備し、緑にふれあう環境を整えるとともに、公共施設等での県産材の利用を進めることにより、森への関心、木材利用の意義への理解を深め、緑を身近に感じ大切にしていくことのできる社会づくりを推進します。</p>
事業実施により期待される効果	<p>森林整備を行ったことにより、地域住民の生活の安全性が確保されたとともに、整備された場所は子供の遊び場としても利用され、子供が森林にふれあう場を作ることができた。</p> <p>木製備品を導入したことにより、施設利用者に森林や木材について学び、ふれあう場を提供することができた。</p>
情報発信への取組	<p>みえ森と緑の県民税を活用した事業であることの周知を図るためHPの掲載や、導入した木製備品へのロゴマークの焼き印などをつけた。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・みえ森と緑の県民税が、どのような趣旨で徴収され、どのように活用されているのか、という情報を受益者に対して簡潔明瞭に情報発信していく必要があると感じました。情報発信度について、2つの基本方針と5つの対策との関係を明確に発信していただければと感じました。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	小学校支障木伐採業務委託	3.3	B	3.3	B	3.7	A	3.7	A
2	2	中学校支障木伐採業務委託	3.3	B	3.3	B	3.7	A	3.7	A
3	2	都市公園危険木処理事業	3.3	B	3.3	B	3.7	A	3.7	A
4	2	里山・竹林環境保全支援事業	3.3	B	3.7	A	3.3	B	3.3	B
5	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.0	B	3.0	B	3.7	A	3.3	B
6	4	市民活動センター運営事業	3.0	B	3.7	A	3.7	A	3.3	B
7	4	一般備品整備事業(小学校)	3.3	B	3.3	B	3.7	A	3.7	A
8	4	一般備品整備事業(中学校)	3.3	B	3.3	B	3.7	A	3.7	A

令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報 (「三重県市町要覧(令和4年度版)」「令和3年度森林・林業統計書」より)

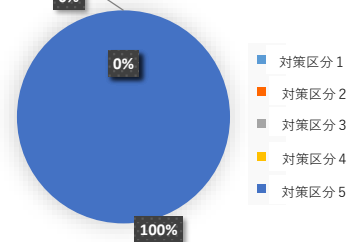
市町名	桑名市	三重県
人口(人)	136,865	1,744,795
年少人口割合(%) * 1	12.5%	11.7%
森林面積(ha)	2,960.03	372,030.12
民有林面積(ha) * 2	2,871.36	348,559.79
森林率(%)	22.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	9.2	10.6

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	5	播磨2号緑地里山整備事業	534,000	534,000					534,000	
2		みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	15,350,000	15,350,000						15,350,000
				0						
				0						
				0						
				0						
計			15,884,000	15,884,000	0	0	0	0	534,000	15,350,000

3. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	本市は木曾三川の河口部に位置し、森林率は約22%と県平均と比較すると低い値となっている。近年は地域の森林への関心度が低下し、十分な手入れが行き届かず、林業活動が殆ど実施されていないため、荒廃した里山や竹林が増加傾向にある。このため本市では、みえ森と緑の県民税を活用し、市民団体と連携して身近な里山を整備する活動を通じて「県民全体で森林を支える社会づくり」の推進に取り組む。
事業実施により期待される効果	里山の整備に関わり、また整備された里山に触れることにより得られる癒しの効果を通して、人々の暮らしと森林環境との関わりに対する理解が深まった。
情報発信への取組	現場での看板設置や、ポスター配置・チラシ・ホームページでの活動紹介など、事業活用の現場であることを重点的にアピールし情報共有を推進した。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・みえ森と緑の県民税が、どのような趣旨で徴収され、どのように活用されているのか、という情報を受益者に対して簡潔明瞭に情報発信していく必要があると感じました。情報発信度について、2つの基本方針と5つの対策との関係を明確に発信していただければと感じました。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	5	播磨2号緑地里山整備事業	3.3	B	3.7	A	3.7	A	3.7	A

令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

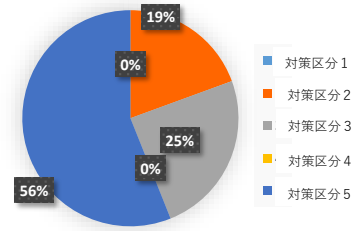
市町名	鈴鹿市	三重県
人口(人)	195,789	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	12.9%	12.4%
森林面積(ha)	3,584.17	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	3,408.37	348,833.49
森林率(%)	18.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	9.8	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	暮らしを守る森林保全事業	994,400	994,400		994,400				
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	1,771,000	442,750		442,750				
3	3	森林環境教育支援事業	100,000	100,000			100,000			
4	3	緑に親しむ記念樹贈呈事業	734,250	734,250			734,250			
5	3	森と緑の生涯学習事業	980,000	980,000			980,000			
6	5	深谷公園里山保全事業	235,741	150,000					150,000	
7	5	ふるさとの木(名木古木)保存活用事業補助事業	2,680,000	2,680,000					2,680,000	
8	5	緑と人を育む長太の大楠再生プロジェクト	1,320,000	1,320,000					1,320,000	
9		みえ森と緑基金積立事業	12,617,600	12,617,600						12,617,600
計			21,432,991	20,019,000	0	1,437,150	1,814,250	0	4,150,000	12,617,600

3. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	20本	1,771,000	442,750	台風などの倒木被害により、ライフラインを寸断する恐れのある樹木を事前に伐採

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
本市は、東に伊勢湾、西に鈴鹿山脈があり、市の中央には鈴鹿川が流れる、豊かな自然環境の下で発展してきた都市です。この恵まれた自然環境は、市民生活や経済活動に多大な恩恵をもたらしており、美しい風景や豊かな生態系は、本市にとって貴重な財産であるともいえます。 このことを踏まえ、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、市民に親しまれている海岸林の保全や、利用頻度の高い公共施設等への県産材利用を通じ、多くの市民が森林の恩恵を享受することができ、森や緑の大切さを学ぶ機会を設け、県民全体で森林を支える社会づくりを推進する事業を進めています。
事業実施により期待される効果
子どもを中心とした市民を対象に、森林について学ぶ場や緑や木にふれあう機会を提供することにより、森や緑の大切さや森林環境への理解を深めることができ、森林づくりに積極的に関わる人材の増加が期待できる。地域にある身近な緑や里山を大切にすることは、自然環境とふれあう場の確保に繋がり、自然と共生する意識がうまれる。 また、人家周辺の森林や樹木を適切に管理することで、市民の暮らしの安心・安全を確保することができる。
情報発信への取組
市広報にて本市におけるみえ森と緑の県民税の活用状況について周知を図った。 また、事業実施の際は、県民税のぼりやロゴマークを掲出するなどして、みえ森と緑の県民税活用事業であることの周知に努め、啓発物品を配布することでみえ森と緑の県民税制度の理解を深めてもらえるよう取り組んだ。 県民税の県内での活用事例紹介や森林のもつ多様性についての展示を市民ギャラリーにて実施し、来庁者への情報発信を行った。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・アンケートの実施や、HPを利用して適切な情報発信をしていることは評価できます。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	暮らしを守る森林保全事業	3.3	B	3.7	A	3.7	A	3.7	A
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.7	A	3.7	A	3.7	A
3	3	森林環境教育支援事業	3.7	A	3.7	A	3.7	A	3.3	B
4	3	緑に親しむ記念樹贈呈事業	4.0	A	3.7	A	3.7	A	3.7	A
5	3	森と緑の生涯学習事業	3.7	A	3.7	A	3.7	A	3.7	A
6	5	深谷公園里山保全事業	3.3	B	3.7	A	3.7	A	3.7	A
7	5	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業	3.3	B	3.7	A	3.3	B	3.3	B
8	5	緑と人を育む長太の大楠再生プロジェクト	3.3	B	3.7	A	3.3	B	3.3	B

令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(令和4年度版三重県市町要覧による)

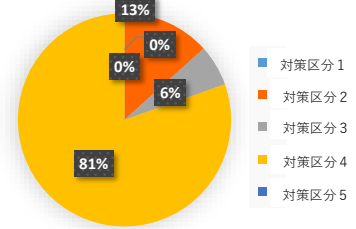
市町名	亀山市	三重県
人口(人)	49,724	1,744,795
年少人口割合(%) * 1	12.5%	11.8%
森林面積(ha)	12,013.00	372,120.00
民有林面積(ha) * 2	11,659.00	348,601.00
森林率(%)	63.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	13.4	10.5

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別別事業費割合★①-5、②-5



2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円)(当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	集落周辺の森林整備事業(危険木等の伐採)	2,333,265	2,000,000		2,000,000				
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	990,000	247,500		247,500				
3	3	森と木材のふれあい事業(森林づくり協議会)	1,053,000	1,052,500			1,052,500			
4	4	森と木材のふれあい事業(木とふれあう)	1,485,000	1,485,000				1,485,000		
5	4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業(森林公園やまびこ)	1,999,308	1,958,000				1,958,000		
6	4	亀山市立図書館備品等整備事業	39,106,320	10,110,000				10,110,000		
計			46,966,893	16,853,000	0	2,247,500	1,052,500	13,553,000	0	0

3. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.05ha	990,000	247,500	台風などの倒木被害により、ライフラインを寸断する恐れのある樹木を事前に伐採(伐採内訳: スギ・ヒノキ167本)

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
本市は、北勢地域随一の林業地帯として古くからスギ・ヒノキを主とした人工林の整備が進められ、良質な木材の生産・供給が行われてきました。しかし、林業を取り巻く情勢は厳しく、採算性の悪化、高齢化等による担い手不足のため、放置される森林が増加したことで森林の機能低下が進んでいます。このため、既存の財源を活用し、林業生産活動の支援や地域材を活用した商品を「亀山ブランド」として認定することで森林整備や地域材の利用促進に取り組んでいます。今後も、森林の有する様々な働きを発揮させるための森林整備や地域材の利用を促進するためには、市民の森林に対する理解と関心を深めることが大切です。このことから、県民税を活用し、森林や木材について学び、ふれあい、親しむ環境をつくることや、暮らしに身近な森林の整備を進め、地域の生活環境の向上を図ります。
事業実施により期待される効果
様々な事業に取り組み、森林や木材について学び、ふれあい、親しむ環境をつくることで市民の森林に対する理解と関心が深まるとともに、地域の危険木やライフラインが寸断される恐れのある樹木を伐採することで市民の暮らしの安全・安心に大きく寄与できる。協議会がコロナ禍の中、工夫を凝らしイベントを開催することで幅広い年代の市民に森林とふれあう場を提供できる。更に、保育園・認定こども園で木育教室を開催することで園児たちに木材にふれる機会が作れ、豊かな心が育まれる。森林公園やまびこの施設整備等を行うことで、子どもから大人まで安全・安心して施設を利用することができることと、森林や木にふれあう場や緑に親しむ環境を提供できる。
情報発信への取組
市ホームページに事業実施結果を掲載。イベント開催時にパンフレットや啓発物品を配付。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・みえ森と緑の県民税が、どのような趣旨で徴収され、どのように活用されているのか、という情報を受益者に対して簡潔明瞭に情報発信していく必要があると感じました。森を育む人づくりや森と人をつなぐ学びの場づくりでは、事業実施の効果を評価するアンケートなどが必要と感じます。また、木製品の導入については、単に県民税を利用したことだけでなく、2つの基本方針と5つの対策との関係を発信していただきたいと感じます。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	集落周辺の森林整備事業（危険木等の伐採）	3.3	B	3.0	B	3.7	A	3.3	B
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.7	A	3.7	A	3.3	B
3	3	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）	3.7	A	3.7	A	3.7	A	3.7	A
4	4	森と木材のふれあい事業（木とふれあう）	3.7	A	3.7	A	3.7	A	3.3	B
5	4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（森林公園やまびこ）	3.3	B	3.3	B	3.7	A	3.3	B
6	4	亀山市立図書館備品等整備事業	3.3	B	3.7	A	3.7	A	3.0	B

令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

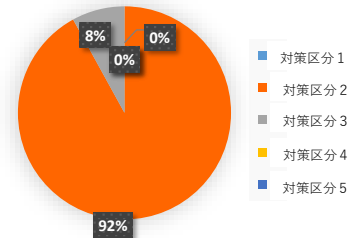
市町名	いなべ市	三重県
人口(人)	44,691	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	12.2%	12.4%
森林面積(ha)	12,808.21	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	11,738.79	348,833.49
森林率(%)	58.3%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	8.1	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	危険木の除去事業	1,187,943	1,187,943		1,187,943				
2	2	危険木の除去事業(主要道路)	8,866,000	7,253,620		7,253,620				
3	2	里山竹林環境保全支援事業	3,000,000	3,000,000		3,000,000				
4	3	中学校卒業記念品配布事業	917,950	917,950			917,950			
5	3	森林環境教育支援事業	77,487	77,487			77,487			
				0						
				0						
				0						
計			14,049,380	12,437,000	0	11,441,563	995,437	0	0	0

3. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	いなべ市は北部と西部を岐阜県と滋賀県に接し、東部と南部は桑名及び四日市圏域に接している。市域は、北に養老山地、西に鈴鹿山脈をいだし、市のほぼ中央に流れる員弁川を挟んで緑豊かな自然と平野に囲まれている。 緑豊かないなべ市でみえ森と緑の県民税市町交付金を活用して、木のぬくもりに触れる機会を作り、身近な森林について目を向けてもらい、森林・木材の意義、大切さを再認識してもらう。また豊富な森林資源を活用し、自然と調和した環境づくりを目指し、整備が進んでいない森林を整備することにより、安心・安全な暮らしを確保する。
事業実施により期待される効果	間伐材を活用した箸の配布を行うことで、森林資源の活用と日常的に木に触れる機会を作り出すことができ、将来的に持続可能な素材を選べる人づくりに繋がることが期待される。また、住民自らが危険木除去を行うことで、身近な危険木の認識とその除去についての意識向上につながった。里山竹林環境保全支援事業では補助金を交付することで、活動範囲の拡大・活動内容の向上を図ることができ、市内の里山整備促進が期待できる。
情報発信への取組	市HPにおいて、みえ森と緑の県民税の概要を伝えるとともに、本事業の事業効果を写真と共にわかりやすくPRしている。中学校卒業記念品配布事業では、生徒にメッセージカードを配布し、県産材を利用する大切さを伝えている。危険木除去事業では市内自治会長に事業案内文書を送付することで、みえ森と緑の県民税を活用して周辺住民の生活の安全を確保し、暮らしに身近な森林づくりに寄与していることを伝えている。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・みえ森と緑の県民税が、どのような趣旨で徴収され、どのように活用されているのか、という情報を受益者に対して簡潔明瞭に情報発信していく必要があると感じました。森を育む人づくりや森と人をつなぐ学びの場づくりでは、事業実施の効果を評価するアンケートなどが必要と感じます。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	危険木の除去事業	3.7	A	3.7	A	3.7	A	3.0	B
2	2	危険木の除去事業（主要道路）	3.3	B	3.0	B	3.7	A	3.3	B
3	2	里山竹林環境保全支援事業	3.0	B	3.3	B	3.3	B	3.3	B
4	3	中学校卒業記念品配布事業	3.3	B	3.7	A	3.7	A	3.3	B
5	3	森林環境教育支援事業	3.7	A	3.7	A	3.7	A	3.3	B

令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報 (令和 4 年度版三重県市町要覧による)

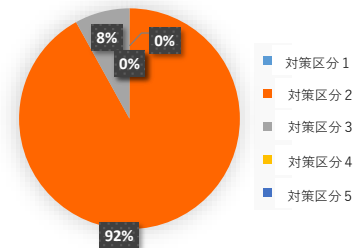
市町名	木曾岬町	三重県
人口 (人)	5,870	1,744,795
年少人口割合 (%) * 1	8.7%	11.8%
森林面積 (ha)	0	372,120.00
民有林面積 (ha) * 2	0	348,833.49
森林率 (%)	0.0%	64.4%
都市公園面積 (m ² /人口) * 3	11.4	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)						
				小計	対策区分 1	対策区分 2	対策区分 3	対策区分 4	対策区分 5	基金積立
1	2	暮らしを守る緑保全事業	13,052,600	13,052,600		13,052,600				
2	3	森林環境教育事業	1,140,968	1,140,968			1,140,968			
				0						
				0						
				0						
				0						
				0						
				0						
				0						
計			14,193,568	14,193,568	0	13,052,600	1,140,968	0	0	0

3. 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	木曾川の河口部に位置する当町は森林率が0%と、日常生活の中で森林にふれあう機会がなく町内の鍋田川線桜並木は、重要な観光資源であると同時に地域住民が緑にふれあい自然環境の大切さを知る貴重な場となっております。これらを踏まえ、鍋田川線桜並木を特定外来種クビアカツヤカミキリの被害から守るため、防除業務や被害木の伐採を行って被害防止対策を実施しました。また、桜の生育に影響を及ぼすことから、周辺の竹林を伐採した。今年の森林環境教育は森林地域の多い長野県木祖村との中学校生徒同士の交流活動を実施した。
事業実施により期待される効果	鍋田川線桜並木を特定外来種クビアカツヤカミキリの被害から守るため、全木を対象にした調査と台帳整備、樹幹注入を行うことでクビアカツヤカミキリの被害低減を狙い、地域住民や道路利用者の安全確保と貴重な自然環境の保護につながる事が期待できる。また、森林環境教育については、中学校生徒や学校教育者に対し、森林をはじめとした自然環境でのフィールドワークを行うことで、森への理解を深め、保護者とともに自然保全意識を高める
情報発信への取組	町広報誌への防除業務の内容と目的を掲載し、町民に対し県民税が安全や自然環境の保全に役立てられていることをPRしたほか、ポスター掲示や町HPでも同内容を紹介し、より多くの人の目に留まるよう取り組んでいる。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

・みえ森と緑の県民税が、どのような趣旨で徴収され、どのように活用されているのか、という情報を受益者に対して簡潔明瞭に情報発信していく必要があると感じました。森を育む人づくりでは、事業実施の効果を評価するアンケートなどが必要と感じます。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	暮らしを守る緑保全事業	3.3	B	3.7	A	3.7	A	3.0	B
2	3	森林環境教育事業	3.7	A	3.7	A	3.7	A	3.3	B

令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

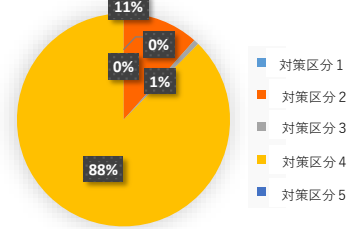
市町名	東員町	三重県
人口(人)	25,957	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	13.2%	12.4%
森林面積(ha)	117.13	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	177.13	348,833.49
森林率(%)	8.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	15.7	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	みえ森と緑の県民税市町交付金事業(危険木伐倒等業務)	1,832,600	1,230,000		1,230,000				
2	3	みえ森と緑の県民税市町交付金事業(森林教育事業)	84,628	84,000			84,000			
3	4	みえ森と緑の県民税市町交付金事業(教育設備等の備品等購入)	9,314,250	9,314,000				9,314,000		
				0						
				0						
				0						
計			11,231,478	10,628,000	0	1,230,000	84,000	9,314,000	0	0

3. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<p>事業方針</p> <p>本町では、北部を中心に名古屋や四日市といった近郊都市部のベッドタウンとして開発が進み、現在森林率が8%程度と森林が少なく、また各地に分散している状況ですが、森林は地域住民の憩いの場として日常的に活用されてきました。</p> <p>このため、危険木の除去など暮らしに身近な森林の整備を進め、地域住民が安全に安心して地域の里山にふれ、森や木の大切さへの理解を深める取組を進めていきます。また、小学校による森林教育授業においては森林の機能や大切さを学ぶことにより、自然環境の役割を考え、行動していく力を養っていきます。</p> <p>その他、教育施設及び福祉施設において木質製品などを取り入れることにより、児童や地域住民が木に触れ合う機会を創出していきます。</p>
<p>事業実施により期待される効果</p> <p>森林環境の保全及び地域住民の森林への意識の醸成が図られた。現地(民家裏等)での調査や作業の際、県民税や事業について詳細に説明する機会が多く、好意的な反応を示していただき、県民税への理解及び森林への関心を高めることができた。</p>
<p>情報発信への取組</p> <p>工事看板に「みえ森と緑の県民税交付金事業」にて実施していることを表記。また、自治会での施工周知説明時に事業の概要についても説明。購入した備品等に「みえ森と緑の県民税」のロゴマークを刻印し、周知を図る。</p> <p>その他、町のHP・広報誌に事業の成果を掲載し、県民税を活用し事業を実施した旨を周知。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・みえ森と緑の県民税が、どのような趣旨で徴収され、どのように活用されているのか、という情報を受益者に対して簡潔明瞭に情報発信していく必要があると感じました。森を育む人づくりや森と人をつなぐ学びの場づくりでは、事業実施の効果を評価するアンケートなどが必要と感じます。また、木製品の導入については、単に県民税を利用したことだけでなく、2つの基本方針と5つの対策との関係を発信していただきたいと感じます。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	危険木伐倒等業務	3.3	B	3.7	A	3.7	A	3.3	B
2	3	森林教育事業	3.7	A	3.7	A	3.7	A	3.7	A
3	4	教育設備等の備品等購入	3.3	B	3.7	A	3.7	A	3.3	B

令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

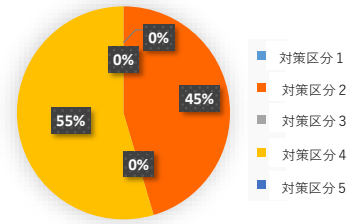
市町名	菟野町	三重県
人口(人)	40,335	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	13.9%	12.4%
森林面積(ha)	5,348.67	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	5,272.74	348,833.49
森林率(%)	50.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	4.3	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	病虫害被害木伐採搬出事業	5,496,796	2,715,000		2,715,000				
2	2	危険樹木伐採事業	1,372,107	343,028		343,028				
3	4	幼児期から木に親しむ木育推進事業	3,736,521	3,672,721				3,672,721		
4		基金事業	3,020,251	3,020,251						3,020,251
				0						
				0						
				0						
				0						
計			13,625,675	9,751,000	0	3,058,028	0	3,672,721	0	3,020,251

3. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.04ha43本	1,372,107	343,026	菟野町菟野地内において事前伐採43本(補償費含)

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	菟野町は、鈴鹿山脈の麓に位置する自然豊かな環境に恵まれた場所にあり、湯の山温泉や御在所ロープウェイなど、四季折々の自然を満喫できる観光スポットを有しており、多くの観光客が訪れます。このような中で、みえ森と緑の県民税を活用し、基本方針でもある「災害に強い森林づくり」の推進のため、病虫害や枯れ木など、倒木の恐れがある危険木の除去を進めることで、地域住民の安全な生活環境を守るとともに、「県民全体で森林を支える社会づくり」の推進のため、当町の森林資源を活用して地域住民や当町を訪れる人が地元の森林環境の魅力を感じ、自然環境保全の大切さや森林資源活用の意義について考え、学び場の整備を進めます。
事業実施により期待される効果	公共の道路に倒木の可能性がある又はライフラインに支障を与える可能性がある危険木を事前伐採することにより、通行者に対する安全の確保及び電線断線の危険の排除ができ、また、病虫害による被害拡散を防止することで地域住民の安全な生活環境の保全に繋げている。 また町内幼児園や子育て支援センターで使用する遊具や家具を購入することにより、施設利用者やその保護者に活用していただき、菟野町を含めた森林環境の魅力を感じ、木材活用の大切さを学ぶ貴重な場となっている。
情報発信への取組	伐採作業時はのぼり旗を使うことにより、みえ森と緑の県民税を使って作業していることを通行者にPRした。また、町のホームページで事業報告を行う。木育推進事業においては、購入した家具・遊具に対して、焼き印もしくはシールによりロゴを入れて、みえ森と緑の県民税を活用していることを周知している。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・みえ森と緑の県民税が、どのような趣旨で徴収されているのかをHPで情報発信されているのは評価できます。木製品の導入については、単に県民税を利用したことだけでなく、2つの基本方針と5つの対策との関係を発信していただきたいと感じます。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	病虫害被害木伐採搬出事業	3.3	B	3.3	B	3.7	A	4.0	A
2	2	危険樹木伐採事業	3.3	B	3.3	B	3.7	A	3.3	B
3	4	幼児期から木に親しむ木育推進事業	3.3	B	3.7	A	3.7	A	3.3	B

令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

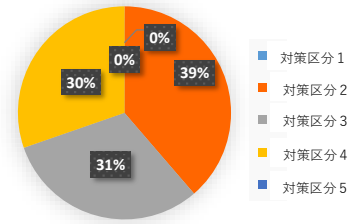
市町名	朝日町	三重県
人口(人)	11,033	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	18.9%	12.4%
森林面積(ha)	63.21	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	63.21	348,833.49
森林率(%)	11.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	2.1	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円)(当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	里山・竹林環境保全支援事業(あさひ竹プロジェクト)	349,000	349,000		349,000				
2	2	里山・竹林環境保全用機器貸出事業(あさひ竹プロジェクト)	2,194,618	2,194,618		2,194,618				
3	3	森林環境教育事業(あさひ竹プロジェクト)	2,038,742	2,038,742			2,038,742			
4	4	森と緑とふれあう環境づくり事業(幼保一体化施設)	1,993,200	1,993,200				1,993,200		
				0						
				0						
				0						
				0						
計			6,575,560	6,575,560	0	2,543,618	2,038,742	1,993,200	0	0

3. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	<p>当町は三重県一小さい自治体であり、森林面積も約63haと狭いが、その25%に当たる約16haが竹林であり、竹林割合の高さでは県内一である。また、人口が増加し続け子どもが多い若い町であり年少人口(15歳未満人口)割合も三重県一である。</p> <p>これらの特徴を踏まえ、町と町民により適正に管理された竹林・里山・緑地や、そこから生み出される生産物等を通じ、若年層や親子が森や緑と親しめる取り組みに県民税を活用することで、竹林・里山・緑地が地域の中で魅力を発揮している姿を目指す。</p> <p>その実現のため、幼児教育段階から緑に親しむ機会を創出する「幼保一体化施設の緑化」や、あさひ竹プロジェクトの一環として、竹を使った様々な体験・学びの場を創出する「森林環境教育事業」、町民による自主的な竹林・里山整備を支援する「里山・竹林環境保全支援事業」、「里山・竹林環境保全用機器貸出事業」を実施した。</p>
事業実施により期待される効果	<p>これまでのあさひ竹プロジェクトの取組の結果、町民の里山に関する関心が高まり、町民主体による自律的な竹林・里山整備に係る活動がスタートした。樹木粉砕機の貸し出しにより、効率的な整備に繋がっている。更に、整備された竹林で採れたタケノコの地元スーパーでの販売、竹粉の田んぼへの散布、作製した竹 TENT や竹駕籠のイベントでの活用なども実現できた。今後、整備された竹林でのたけのこ掘り体験なども予定されている。</p> <p>これらにより、里山の安全性を高めるだけではなく、里山のもつポテンシャルを効果的に活用している姿が期待できる。</p>
情報発信への取組	<p>町のHP、広報紙等を通じた一般的なPRを実施したほか、竹プロジェクト関係の取組は新聞記事等や地元CATVに取り上げられている。また、竹あかりの来場者に対してQRコードを活用したアンケートを実施し良好なアンケート結果が得られたと同時に、多くの方にみえ森の存在を周知することができた。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・いろいろな方法で、みえ森と緑の県民税の情報発信をされていることは評価できます。さらに、この税が、どのような趣旨で徴収され、どのように活用されているのか、という情報を受益者に対して簡潔明瞭に情報発信していただければと感じます。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	里山・竹林環境保全支援事業（あさひ竹プロジェクト）	3.7	A	3.7	A	3.3	B	3.3	B
2	2	里山・竹林環境保全用機器貸出事業（あさひ竹プロジェクト）	3.3	B	3.7	A	3.7	A	3.0	B
3	3	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）	3.7	A	3.7	A	3.3	B	3.7	A
4	4	森と緑とふれあう環境づくり事業（幼保一体化施設）	3.0	B	3.0	B	3.7	A	3.3	B

令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

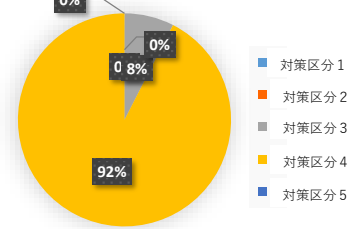
市町名	川越町	三重県
人口(人)	15,283	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	14.3%	12.4%
森林面積(ha)	0.00	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	0.00	348,833.49
森林率(%)	0.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	0.3	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	3	川越中学校自然教室	986,718	532,000			532,000			
2	3	川越北小学校自然教室	562,447	387,000			387,000			
3	3	川越南小学校自然教室	468,747	295,000			295,000			
4	4	川越北小学校図書室机・椅子等整備事業	4,125,000	3,978,000				3,978,000		
5	4	川越町あいあいホール改修事業	513,678,000	10,919,000				10,919,000		
				0						
				0						
				0						
計			519,820,912	16,111,000	0	0	1,214,000	14,897,000	0	0

3. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	0	0	0	
森林再生力強化対策事業	0	0	0	
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0	0	0	

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
<p>当町は三重県の北部に位置し、北は員弁川、東は伊勢湾に臨む地形であり森林を有していない町です。人口は増加しており、年少人口割合は県平均を上回っている状況にあります。この状況において、学校施設への木製品目の設置や自然の中で森林や木材について学ぶ機会をもつことで、森林や緑を大切に思い育む人づくりを進めます。また、公共施設の木質化を通じて、町民が森林や木材について、学びふれあう場を提供することで森林教育を行います。</p>
事業実施により期待される効果
<p>緑豊かな環境の中で、集団生活を通じ学校生活における「仲間づくり」や「信頼関係」の土台を築き、自然と触れ合うことで、身近な木や緑に親しむ機会を増加させることができる。また、身近な公共施設への県産材の使用や、学校で木製品に触れることにより、三重県の森林や木材への関心を深めてもらい木の温もり、肌触りや香りを身近に感じることができ、木材利用に対する理解や関心が深まる。</p>
情報発信への取組
<p>学校だよりや学年通信を活用し、自然教室を通じた子供の成長や取組について、情報を提供した。また、町HPを活用し、みえ森と緑の県民税市町交付金の活用実績について、情報発信した。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・子供の森林教育や学校家具への投資は、効率は悪くとも将来性のある有益な事業と考えられる。あいあいホール改修は、学生・学校への投資と比べようもなく膨大な支出をしており、そのバランスが偏っているように感じられる。他の用途として、危険木の排除なども検討されると良いのではないかと。ただし、当該税金を使わずに別途取り組みがある場合は、このコメントは無視していただきたい。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	3	川越中学校自然教室	3.5	A	3.0	B	3.3	B	3.3	B
2	3	川越北小学校自然教室	3.5	A	3.0	B	3.3	B	3.3	B
3	3	川越南小学校自然教室	3.5	A	3.0	B	3.3	B	3.3	B
4	4	川越北小学校図書室机・椅子等整備事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
5	4	川越町あいあいホール改修事業	3.3	B	2.8	C	3.3	B	2.8	C

令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(令和4年度版三重県市町要覧及び令和3年度版森林・林業統計書による)

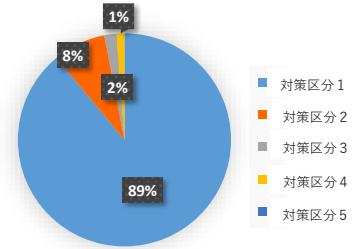
市町名	津市	三重県
人口(人)	271,090	1,755,415
年少人口割合(%) * 1	11.9%	11.8%
森林面積(ha)	41,532.42	372,030.12
民有林面積(ha) * 2	40,791.91	348,559.79
森林率(%)	58.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	7.8	10.6

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合



2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円)(当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	1	津市林地残材搬出促進事業	34,934,300	34,934,257	34,934,257					
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	8,165,769	2,041,443		2,041,443				
3	2	竹林整備支援事業	1,085,700	1,085,700		1,085,700				
4	3	津市森林環境教育事業	477,400	477,400			477,400			
5	3	美里水源の森「林業体験」事業	252,100	250,000			250,000			
6	4	子育て支援センターにおける木育環境整備事業	464,200	464,200				464,200		
計			45,379,469	39,253,000	34,934,257	3,127,143	727,400	464,200	0	0

3. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	92.30ha	45,002,100	45,000,000	特定水源地域の森林の調整伐
森林再生力強化対策事業	4,306m	3,651,745	3,651,745	獣害防護柵設置
災害からライフラインを守る事前伐採事業	伐採252本 植栽210本	8,165,769	2,041,442	ライフラインを寸断する恐れのある立木の伐採

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	<p>・本市の森林面積は、総面積711km²の58.4%にあたる415km²を占めており、人工林率は82%と古くからスギ、ヒノキの造林が盛んに行われている森林が多い。一方で、高速道路や鉄道、海上アクセスなど交通インフラ、大学や短期大学など高等教育機関、大学病院等の医療機関など県都として都市機能が集積されていることから、流域の上流のみならず、下流の市民の方々も森林の恩恵を受けている。</p> <p>・上流から下流の市民の生命と財産を守るため、森林に対して直接県民税を投じて災害に強い森林づくりを図るとともに、下流域の市民の方々をターゲットとした森林環境教育事業、木育環境整備事業等を併せて進めていく。</p>
事業実施により期待される効果	<p>・林地残材の減少により河川への流出危険性が減少し、減災効果が得られた。また、バイオマス発電燃料として未利用材の有効活用が進んだ。</p> <p>・直接木に触れることや、森林のはたらきについて学ぶことで、循環可能な資源である木材を利用する意義を知るとともに、森林の持つ公益的機能の理解を深めることができ、森を育む人としてのきっかけづくりの場を提供することができた。</p>
情報発信への取組	<p>・事業実施個所については、税ののぼり旗により啓発を行った。</p> <p>・県民税の活用についてホームページや広報誌等に掲載した。</p> <p>・森林環境教育の参加者の募集方法として、「夏休み森と緑の親子塾」「まるごと林業体験」は広報津を活用し、広く募集に関する周知を図った。</p> <p>・アンケートを行い、次回以降の取組へ反映する。</p> <p>・市町交付金事業のパネルを市役所庁舎及び県津庁舎に掲示し、PRを行った。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・間伐・竹林・森林教育（次世代育成）など、喫緊の課題と将来への投資のバランスが良いと感じられる。</p> <p>・林地残材搬出促進事業の津市の回答に「山の中に材を残さないことは、二次災害の原因を取り除くことつながる為、有益であると意見をいただいていることから、市民から理解を得られているものと考え」とあるが、すべての残材が災害を招くわけではない。溪流沿いの残材が大雨により下流域に流出するおそれはあるが、谷から離れた山腹にある残材はその危険性は少ないと考えられる。実積書の3. 有効性の効果を発揮させるための工夫・取り組みの中には、「流木を出さない災害に強い森林づくりが目的であるため、事業者には可能な限り、河川や沢に近い箇所を重点的に搬出するよう、口頭にてお願いしている」とあるが、実際にそのような場所から出てきているという確認などはできているのか、そのあたりをしっかりとチェックする必要があるのではないか。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	1	津市林地残材搬出促進事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	2.8	C
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.3	B
3	2	竹林整備支援事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
4	3	津市森林環境教育事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.5	A
5	3	美里水源の森「林業体験」事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	3.3	B
6	4	子育て支援センターにおける木育環境整備事業	3.8	A	2.8	C	3.3	B	3.3	B

令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

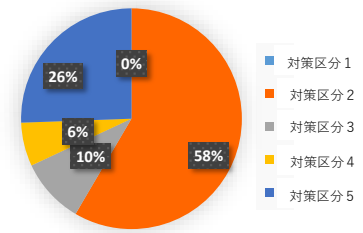
市町名	松阪市	三重県
人口(人)	159,145	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	12.7%	12.4%
森林面積(ha)	42,802.00	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	41,341.00	348,833.49
森林率(%)	69.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	7.23	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合★①-5、②-5



2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	里山の森林安全安心対策事業	13,376,000	13,286,700		13,286,700				
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	20,114,954	5,000,000		5,000,000				
3	3	森林環境学習事業	2,852,300	2,852,300			2,852,300			
4	3	松阪の木魅力発信活動事業	436,207	145,000			145,000			
5	4	保育園木育推進事業	3,030,500	2,000,000				2,000,000		
6	5	都市公園整備事業	4,062,300	4,000,000					4,000,000	
7	5	文化財センター施設整備事業	6,279,900	4,000,000					4,000,000	
				0						
		計	50,152,161	31,284,000	0	18,286,700	2,997,300	2,000,000	8,000,000	0

3. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	13.03ha	4,207,500	4,207,500	間伐12.77ha、現地調査7箇所
森林再生力強化対策事業	8,394m	4,721,673	4,721,673	防護柵補助8,394m
災害からライフラインを守る事前伐採事業	1.95ha	20,114,954	5,000,000	危険木伐採1,103本

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	<p>松阪市は海から山まで、市街地から過疎地まで、一つの自治体の中で風土、地域性が多岐に亘っており、当該交付金の活用については「普く、上流域から下流域まで、如何に有効活用するか」「市民に当事者意識と主体性を如何に促すか」といった両側面において、多様な地域性に応じた事業展開のデザインと創意工夫が求められるところであり。加えて、近年の異常気象に起因する自然災害に対応すべく、粛々と森林整備を行うことと同時に、森と緑を育む人づくりを図るため、市民に森林や林業についての学びとふれあいの機会を提供する事も極めて重要であると考えられます。</p> <p>令和4年度は合計7事業について、当該交付金のPRに努めつつ、海から山まで、普く持続可能な施策を展開し、森と緑と市民の関係を一層深められるよう注力いたしました。</p>
事業実施により期待される効果	<p>里山の森林安全安心対策事業及び災害からライフラインを守る事前伐採事業については、自助努力により対応できない箇所について、配電事業者や地域と連携しながら実施したことにより、物理的な安全安心の確保に加え森林所有者による事業実施後の管理意識の向上に繋がった。森林環境学習については、小学校の従来のカリキュラムである清掃工場においての環境学習に加え当該事業を実施したことにより、飛躍的に森林の公益的機能の理解が定着すると好評を得ている。</p>
情報発信への取組	<p>森林整備・都市公園整備遂行にあたり、地域住民への回覧等による情報伝達時に併せて県民税のPRチラシ配布し積極的な啓発を行っている。森林環境学習については、報道機関へ情報提供を行い、新聞紙上やテレビ放映において、情報を発信した。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・市の森林率が平均を上回り、地元提携している森林組合があること、林業の若手後継者の団体があることから、森と緑をはぐむ人づくりがもっと効果的にできる地域と見ます。県民税の活用のさらなる企画と広報に注目していきたいと思います。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	里山の森林安全安心対策事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
3	3	森林環境学習事業	2.7	C	3.0	B	2.7	C	2.7	C
4	3	松阪の木魅力発信活動事業	3.3	B	3.0	B	2.7	C	2.7	C
5	4	保育園木育推進事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.3	C
6	5	都市公園整備事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	2.7	C
7	5	文化財センター施設整備事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B

※再評価の結果、修正となった事業

松阪の木魅力発信活動事業

<公益性> 事前評価 2.3点C → 再評価 2.7点C

令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

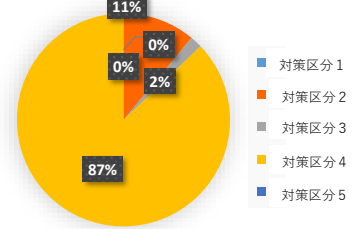
市町名	多気町	三重県
人口(人)	14,345	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	12.8%	12.4%
森林面積(ha)	5,915.33	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	5,915.33	348,833.49
森林率(%)	57.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	23.2	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3,740,000	900,000		900,000				
2	3	木とふれあう教育支援事業	150,000	150,000			150,000			
3	4	木とふれあう環境づくり事業	9,060,700	7,114,000				7,114,000		
計			12,950,700	8,164,000	0	900,000	150,000	7,114,000	0	0

3. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	8.89ha	3,490,300	3,490,300	
森林再生力強化対策事業	304m	348,537	348,537	
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.05ha	3,740,000	900,000	

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	多気町は、三重県のほぼ中央部に位置し、森林面積は約57%を占めている。地域住民の生活に密着した里山から、林業生産活動が実施されるべき人工林等多様な森林構成になっている。しかしながら、森林所有者の高齢化にともない森林の維持管理が難しい状況であり、森林の荒廃が進行している。そのため県民税を利用し、地域住民に木に触れる機会を提供し、森林の役割について理解を促す必要がある。また、地域住民が安心・安全に生活が送れるようライフラインを守る事前伐採事業を実施していく。
事業実施により期待される効果	県産木材を利用した木製備品を小学校、保育園に導入・配置したことにより、木に対する関心がたかまり、また多くの地域住民が集まる公共野外施設(勢山荘)に木製遊具を配置したことにより、多くの方に木の素晴らしさを実感してもらうことができる。危険木を実践に伐採することにより、より安全・安心した住民生活を送ることができる。
情報発信への取組	多くの地域住民の方に、木製備品の素晴らしさを理解してもらい、また危険木の伐採により安全・安心した生活が送れることができるということを広報誌等で情報発信した。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<ul style="list-style-type: none"> ・教育支援事業では森林組合から講師を派遣されるということなので、地元林業の評価を高める意味でも、近隣地域と同程度の単価でも良いのではないかと思います。 ・利用する子どもたちや保護者にも、県産材を用いていることを積極的・継続的に広報していただくと、より身近に感じてもらえるのではないかと思います。 ・森林所有者の高齢化に伴い森林の維持管理が難しいとされる点、将来的にはどのように対処するのが妥当かを検討されたし。 	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	災害からライフラインを守る 事前伐採事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
2	3	木とふれあう教育支援事業	2.7	C	3.0	B	2.7	C	2.7	C
3	4	木とふれあう環境づくり事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.3	C

令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

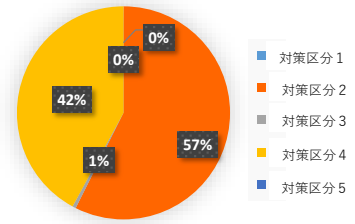
市町名	明和町	三重県
人口(人)	22,951	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	12.9%	12.4%
森林面積(ha)	310.97	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	310.97	348,833.49
森林率(%)	8.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	11.4	10.1

* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2 : 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	松林整備事業	6,743,000	6,140,000		6,140,000				
2	3	木育事業	56,100	56,000			56,000			
3	4	学校木製備品導入事業	4,504,500	4,500,000				4,500,000		
				0						
				0						
				0						
				0						
				0						
計			11,303,600	10,696,000	0	6,140,000	56,000	4,500,000	0	0

3. 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	<p>明和町は三重県の中南部に位置し、総面積41.04平方キロメートルで、民有林面積は310.97ha、保安林は33.87ha(うち防風保安林は18.90ha)あります。そのうち、マツの面積が210.24haであり、その占める割合は67.6%であり県平均(7.9%)よりかなり高い値です。しかし、松くい虫被害等により森林の持つ公益的機能の低下が懸念されることから、本町においては次に挙げる事業を行う。</p> <p>「災害に強い森林づくり」の推進として、沿岸沿いの防災林の役割及び景観を保持するため、松林の継続的な保護に取り組み、地域住民等の安心と安全を確保する。また、「県民全体で森林を支える社会づくり」として小学生を対象に三重県産材の備品に触れていただくことで、森林の大切さや自然環境について考える場を提供する。</p>
事業実施により期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・松林整備により景観が保持される。 ・地域住民や観光客の憩いの場としての活用が期待され、整備により安全も確保される。 ・児童らが使用する机・椅子に木製備品を導入することで、日常的に木の温もりに触れる機会の創出と県産材の活用促進をはかることができる。 ・児童を対象とした木育事業を実施することで、木の温もりに触れてもらい、森林や緑の大切さへの理解を深める。
情報発信への取組	<ul style="list-style-type: none"> ・町ホームページやポスター等を通して事業内容や森林保全に係る事項、効果等に関する周知を行う。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・2の木育事業について、アクセサリーの作成が「森や緑の環境を思いやる心」に直結するかは疑問があります。アンケートの回答も「よく分かった」に比べ「楽しかった」に集まっており、目的からは少し外れた結果となっているように思われます。効率性の面でも、授業一回に対する準備を含めての手数がかかりすぎているように思われ、なぜこの事業が選ばれたのかが不明です。</p> <p>・3の学校木製備品購入事業について、ロゴマークの印字はととてもすばらしいと思います。画像では文面がわかりませんが、小学生が見て理解できるロゴマークであると良いと思います。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	松林整備事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	2.3	C
2	3	木育事業	2.7	C	2.7	C	2.7	C	2.3	C
3	4	学校木製備品導入事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C

※再評価の結果、修正となった事業

松林整備事業

<効率性> 事前評価 2.7点C → 再評価 3.0点B

木育事業

<効率性> 事前評価 2.3点C → 再評価 2.7点C

<公益性> 事前評価 2.3点C → 再評価 2.7点C

令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

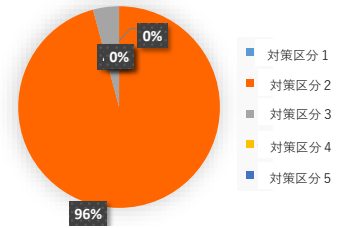
市町名	大台町	三重県
人口(人)	8,975	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	9.8%	12.4%
森林面積(ha)	33,760.45	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	27,941.63	348,833.49
森林率(%)	93.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3		10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合★①-5、②-5



2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	17,972,373	4,495,000		4,495,000				
2	2	集落周辺等危険木伐採事業	11,000,000	10,606,400		10,606,400				
3	3	森林環境教育事業	655,600	655,600			655,600			
				0						
				0						
				0						
				0						
計			29,627,973	15,757,000	0	15,101,400	655,600	0	0	0

3. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	60.99ha	49,198,600	47,686,000	災害緩衝林事業の周囲の間伐
森林再生力強化対策事業	4164m	2,714,109	2,714,000	獣害防護施設設置に対する補助
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.55ha	17,972,373	4,491,000	ライフラインを寸断する恐れがある樹木の事前伐採

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<p>事業方針</p> <p>大台町の総面積は362.86km²であり、その90%以上が山林を占め、県内の町では、最大級の規模を有しています。その大部分が伐採適齢期を迎える中、木材価格の低迷や林業の担い手不足、森林への意識低下等により施業放置される森林が増加しています。そのため、みえ森と緑の県民税を活用し、「災害に強い森林づくり」の防災減災対策の事業として、道路沿いに設置されたライフライン(電線)を風倒被害から守るための事前伐採、集落周辺や人家等への風倒被害を未然に防ぎ、住民の安全・安心を確保するため、危険木の伐採や人工林を帯状に間伐する事業を実施します。また、「県民全体で森林を支える社会づくり」の事業とし、森林利用について学ぶ機会を提供し、今後の森林林業の担い手となるきっかけとして、地元の高校生を対象に森林や林産物などを学習する場を提供します。</p>
<p>事業実施により期待される効果</p> <p>災害からライフラインを守る事前伐採事業については、三重県、電力会社との共同の取組として実施。また、集落周辺等危険木伐採事業については、地元区長からの要望等の聞き取りにより実施するなど、各関係機関と連携を図りながら実施することにより、地域住民の安全・安心の確保につながった。</p> <p>森林環境教育事業については、農林業を専攻する高校生を対象として実施したことにより、大台町の森林や林産物への関心や理解を深めることができたこと好評を得た。</p>
<p>情報発信への取組</p> <p>災害からライフラインを守る事前伐採事業については、広報紙および、町ホームページにより、県民税を活用した事業の趣旨等の情報発信を行った。環境学習については高校生に対して県民税の趣旨説明、その他の事業についても施工中ののぼり旗等の設置や広報紙、町ホームページによる情報発信を行った。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

・森林率93%、年少人口の割合も小さいなかで、高校生の存在は大きな期待があらうと思われま。地元の幼児や小中学生へも効果的な森や緑に愛着を高める工夫を期待します。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.3	B
2	2	集落周辺等危険木伐採事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
3	3	森林環境教育事業	3.7	A	3.0	B	3.7	A	3.3	B

令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

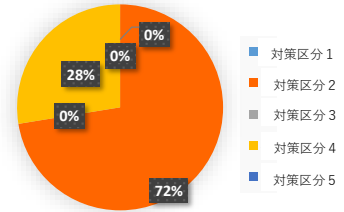
市町名	伊勢市	三重県
人口(人)	122,580	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	11.4%	12.4%
森林面積(ha)	10,956.43	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	10,956.43	348,833.49
森林率(%)	53.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	9.2	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	森林整備事業	12,776,500	12,776,000		12,776,000				
2	2	危険木伐採事業	15,396,700	15,040,000		15,040,000				
3	4	二見地区統合園整備事業	10,584,200	10,584,000				10,584,000		
				0						
				0						
				0						
				0						
計			38,757,400	38,400,000	0	27,816,000	0	10,584,000	0	0

3. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
<p>伊勢市は伊勢平野の南部に位置し、伊勢志摩国立公園の玄関口にもあたる都市であり、自然風景にも恵まれています。</p> <p>本市の森林率は約53%で、総面積のおよそ半数を占めているが、近年の木材価格の低迷による採算性の低下、林業従事者の減少や後継者不足、所有者の高齢化などにより、適正な施策が行われていない森林が増加している。しかし、地球温暖化防止対策として、森林に対する市民の意識・価値観が多様化し林業生産活動のみならず、森林の有する公益的機能が求められていることから、健全で活力のある森林資源の造成を行うことが重要な課題となっている。</p> <p>このことを踏まえ、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、海岸線の保全、公共施設等への県産材利用を促進していき、多くの市民が恩恵を受けられる環境を目指します。また、森や緑の大切さを学ぶ機会を設け、県民全体で森林を支える社会づくりを推進していきます。</p>
事業実施により期待される効果
<p>①病害虫被害を最小限にとどめることにより、防風林の役割を担っている海岸線の景観保全及び倒木による住民への被害防止を図ることが出来た。</p> <p>②校庭及び公園に生い茂った危険木の伐採を行うことにより、児童生徒、地域住民に安心・安全な環境の提供を図ることが出来た。</p> <p>③県産材を使用することで、森林資源の活用と木に触れる機会を作り出すことが出来た。</p>
情報発信への取組
<p>①施行前に地元自治会を通じて案内チラシを回覧することで、地元への周知を図っている。また、施行期間中は現地にはのぼり旗の設置、訪れた人が目に付く場所に県民税のPR看板を設置して情報発信に努めている。</p> <p>②施行前に地元自治会を通じて案内チラシを回覧することで、地元への周知を図っている。また、施行期間中は現地にはのぼり旗の設置を行い、情報発信に努めている。</p> <p>③保育物品には県民税ロゴのプレートを作成することで、県民税を用いて製作したものであることを明示した。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

・海岸林における松くい虫防除は必須であり、その財源に充てたのは妥当と考えられる。二見の取り組みも次世代育成として効果が期待できる。税金の使途のバランスが良いと感じられる。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	森林整備事業	3.3	B	3.3	B	3.5	A	3.0	B
2	2	危険木伐採事業	3.3	B	3.3	B	3.5	A	3.3	B
3	4	二見地区統合園整備事業	3.5	A	3.5	A	3.3	B	3.3	B

令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(令和2年度版三重県市町要覧による)

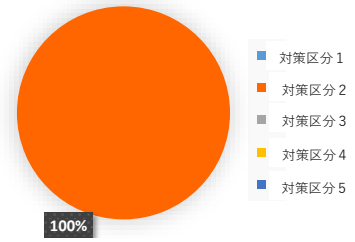
市町名	鳥羽市	三重県
人口(人)	17,617	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	9.3%	12.4%
森林面積(ha)	7,484.00	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	7,484.00	348,833.49
森林率(%)	69.7%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	10.4	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	危険木伐採事業	4,563,422	4,563,422		4,563,422				
2	2	危険木伐採事業費補助金事業	3,610,000	3,610,000		3,610,000				
3		基金積立事業	839,578	839,578						839,578
				0						
				0						
				0						
				0						
				0						
計			9,013,000	9,013,000	0	8,173,422	0	0	0	839,578

3. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	本市では、人工林率が25%となっており、人工林率が低く、天然率が高いことが特徴である。本市の強みである水産業と森林には密接な関連があり、本市内の森林を整備することで、水源涵養力や土砂流出災害防止などの森林本来の機能を回復させるとともに、森林の土壌に含まれているミネラルなどが川へ流れ込み海に入り、磯焼けの防止や藻場の再生につながり、海産物の育成などにも好影響が生じる。 しかし、本市では急峻な地形であることや林業経営体が減少していることにより、森林整備が進んでおらず、海産物や市民生活に支障をきたす恐れがある立木が多い。そのため、危険木の除去など暮らしに身近な森林の整備をすすめ、市民の生活に支障をきたすことがないようにするとともに、森林の整備を行うことが海の環境改善につながる。
事業実施により期待される効果	危険木の伐採を行ったことにより、市民が安心安全な生活を送ることができるようになった。また、危険木伐採(補助金)では、市が施行するまでの間に状況が変化し倒木する可能性がある。補助金事業として町内会が主体となって行うことにより、各町が一番危険と感じている木を最優先でそれぞれ伐採できるため、危険要因を排除できる。 また、伐採木は実施した町内で必要とする人が必要分活用することにより、木がもつぬくもりや利便性を感じてもらえることができた。
情報発信への取組	危険木伐採を実施する前に、対象となる町内会に回覧文書を作成し、周知を図った。また、施行後には町内会・漁協を通じて、伐採木活用意向を聞き取ってもらい、伐採木を引き取ってもらう人に対して周知を行った。 病害虫防除樹幹注入業務委託では、神島町内会と相差町内会では回覧文書を作成し、回覧板等に掲載した。 市ホームページでは、県民税に関するページを作成し、紙ベースではなくインターネットでも実績の周知を図った。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・危険木の伐採は、人命にかかわる点で重要であり、県民税の用途としてふさわしいと感じられる。のぼりやチラシによる広報は、HPなどより効果があるのではないかと考えられる。他の用途として、次世代育成なども検討されると良いのではないかと考える。ただし、当該税金を使わずに別途取り組みがある場合は、このコメントは無視していただきたい。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	危険木伐採事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.3	B
2	2	危険木伐採事業費補助金事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.3	B

令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

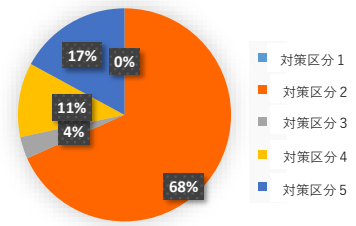
市町名	志摩市	三重県
人口(人)	46,057	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	8.4%	12.4%
森林面積(ha)	9,104.00	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	9,101.49	348,833.49
森林率(%)	51.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	6.5	10.1

* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2 : 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	災害に強い森林づくり事業	2,575,100	2,575,000		2,575,000				
2	2	松くい虫防除事業	5,553,780	5,426,000		5,426,000				
3	3	森と緑ふれあい事業	390,000	390,000			390,000			
4	4	観光農園木製品購入	1,320,000	1,320,000				1,320,000		
5	5	創造の森横山遊歩道整備事業	2,217,600	2,000,000					2,000,000	
				0						
				0						
				0						
計			12,056,480	11,711,000	0	8,001,000	390,000	1,320,000	2,000,000	0

3. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	8.42	2,750,000	2,750,000	調整伐
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
志摩市の森林の多くは、広葉樹が広がり、薪炭林などとして利用されていたが、社会情勢の変化により、里山としての森林利用がされなくなり、森林病害虫の発生が見られたり、獣害被害が農地や人家近くに及ぶようになってきた。 この状況下において、森林の持つ多面的な機能を市民に知ってもらうために、木製品にふれあう機会を創出や体験型の講習会などを通じ里山保全の手法を体験していただき、市民による森と緑ふれあい事業の取り組みをさらに推進する。 併せて災害に強い森林づくりとして森林整備を進めていく。
事業実施により期待される効果
①体験型の講習会を開催したことにより、森林への関心やその手法を市民に伝えることができた。 ②古くから海岸保全林として地元住民に親しまれていた松林の保全ができた。また、森林公園としての松林の保全ができた。 ③特定水源地域において、連携枠を活用し、調整伐を実施し、森林整備が促進された。
情報発信への取組
事業実施時の工事看板及び備品購入にあたっては、当該備品に県民税活用した旨を記載したプレートを設置している。 また、事業実施時において地元自治会長等に事業を周知する文書を配布するにあたり、文書内に県民税を活用して事業実施している旨の文言を記載して地元住民への周知を図っている。 事業成果について、市ホームページで紹介する予定をしている。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<ul style="list-style-type: none"> ・予算を細かく分けて、多様な用途に宛てており、その多くが熱意ある取り組みであるように感じられる。歩きたくなるような遊歩道が印象的である。予算の使途としてもバランスが良いと感じられる。 ・「みえ森と緑の県民税」を活用して事業を実施している周知活動を積極的に行っていただきたい。 	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	災害に強い森林づくり事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
2	2	松くい虫防除事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
3	3	森と緑ふれあい事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.3	B
4	4	観光農園木製品購入	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
5	5	創造の森横山遊歩道整備事業	3.0	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B

令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

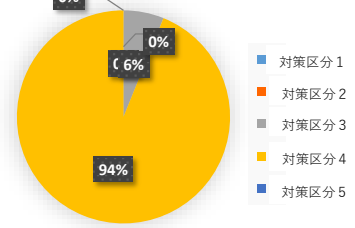
市町名	玉城町	三重県
人口(人)	15,199	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	14.5%	12.4%
森林面積(ha)	1,259.02	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	1,258.77	348,833.49
森林率(%)	31.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	25.7	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円)(当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
	1			0						
	2			0						
1	3	森林環境教育・木育事業	562,294	560,800			560,800			
2	4	公共施設整備事業	8,912,200	8,593,200				8,593,200		
	5			0						
	6			0						
				0						
				0						
計			9,474,494	9,154,000	0	0	560,800	8,593,200	0	0

3. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	<p>本町は、三重県のほぼ中央に位置し、伊勢市、度会町、多気町、明和町に隣接している。総面積は40.91km²でそのうち、森林面積は1,258.77haで森林率は31%と低く、そのほとんどが民有林で人工林面積は1,133.59haで森林面積の90%を占めている。森林率が低いゆえ、森林の良さ、木材の良さに気づかせることで、森林環境への関心・身近さを少しでも感じてもらいたいと考えている。</p> <p>このため、保育所や小学校で森林環境教育を実施して森を育む人づくりを行ったり、またアスピア玉城で三重県産の木材を使用したりすることで、森と人をつなぐ学びの場として、多くの方々に森林の必要性、大切さを周知し、啓発していく。</p>
事業実施により期待される効果	<p>森林環境教育・木育を実施したことで森林への理解、森林の大切さを感じてもらう。</p> <p>また、木と触れ合える教育環境を児童や園児とその保護者、指導者に感じてもらう、木材の大切さ、活用の促進と森林への理解を深めてもらう。</p>
情報発信への取組	<p>町の広報誌(広報たまき)へ掲載し、町民に対して積極的に情報提供(PR)した。</p> <p>町民はもとより、木育活動等を実施した施設の対象者(児童、園児)、教職員からも事業に対する理解の声をいただいた。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・森林教育の対象者が幅広く、イベント内容にも工夫が凝らされている点に熱意が感じられる。他の用途として、危険木除去なども検討されると良いのではないか。ただし、当該税金を使わずに別途取り組みがある場合は、このコメントは無視していただきたい。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	3	森林環境教育・木育事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.3	B
2	4	公共施設整備事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.3	B

令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(令和3年度版三重県市町要覧による)

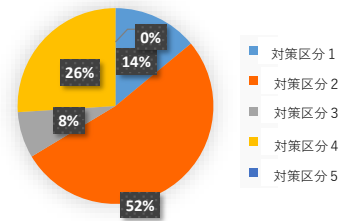
市町名	度会町	三重県
人口(人)	7,822	1,771,855
年少人口割合(%) * 1	11.3%	12.2%
森林面積(ha)	11,410.44	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	11,410.44	348,833.49
森林率(%)	85%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	9.6	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)							
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立	
1	1	流倒木撤去事業	1,518,000	1,518,000	1,518,000						
2	2	危険木伐採事業	3,314,520	3,314,000		3,314,000					
3	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	9,466,425	2,366,000		2,366,000					
4	3	森林環境教育推進事業	827,816	827,000			827,000				
5	4	木材とふれあう場づくり推進事業	2,820,400	2,820,000				2,820,000			
計			17,947,161	10,845,000	1,518,000	5,680,000	827,000	2,820,000	0	0	

3. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	13.16 ha	7,810,000	7,623,000	間伐等(環境林・特定水源地域)
森林再生力強化対策事業	307 m	589,071	353,000	植栽タイプ(獣害防止施設等の整備)
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.1 ha	9,466,425	2,366,000	伐採調査、伐採施工、立木補償

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<p>事業方針</p> <p>本町は、三重県の南東部に位置する内陸地であり、町の西から東に流れる宮川・南から北へ流れる一之瀬川沿いに集落が広がっている。総面積のうち山林が84.5%占めており、古くから人工林の整備が進められてきたが、近年の木材価格の低迷や林業後継者不足により、林業経営が厳しい状況下となっている。</p> <p>本県民税を財源に本町では、第7次度会町総合計画に定める「みらい わたらい わかち愛 ～想いはぐくみ、幸せつなぐまち～」の将来像を基盤に、地域材で木材製品を整備し、地域材の利用を促進するとともに、森林について「学ぶ場」と「ふれあう場」を提供する。また、近年の災害状況を踏まえ、道路・河川・ライフラインに関連した暮らしの安全を守る強靱なまちづくりをすすめる。</p>
<p>事業実施により期待される効果</p> <p>倒木の恐れのある道路や公共施設等周辺の危険木の伐採をすることにより、災害時等における通行止めやライフラインの寸断を未然に防ぎ、住民避難の安全性や、日頃の利用の安全性の確保が期待できる。川の上流の隆倒木を撤去することで、道路や下流域への災害の拡大が抑制でき、利用者や住民の安全性が向上する。</p> <p>また、子どもたちへ木育授業や木工体験を行うことで、森林の魅力に触れるきっかけになり、森林に対して興味を持ってもらい、森林の機能・緑の大切さについての理解を深める機会になる。また、保育所や公園の備品を木製で整備することで、木育授業を受けた園児や、公園利用者に木への親しみを深めてもらい、木材の良さ・木材利用の意義を知ってもらう場所としての活用が期待できる。</p>
<p>情報発信への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に実施する事業を町HPにて掲載した。 ・事業の内容を町広報に掲載した。 ・庁舎内において事業の概要、実施前・実施後の写真を掲載した。 ・事業実施中に、県民税ののぼり旗をたて、県民税で事業を実施していることをアピールした。 ・事業の写真を町SNSに投稿した。 ・実施前に記者提供を行い、新聞記事として事業内容を紹介した。 ・木材製品に県民税のロゴシールを貼り、県民税で整備を行ったことを情報発信した。 ・宮りパー度会パークで実施した春まつり時に、ベンチ周辺に県民税のチラシやのぼり旗を設置した。また、ベンチ利用者に県民税を活用してベンチを整備したことを説明した。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・事業の実施個所が細かく分散しており、多くの受益者が生まれていると推察される。SNSなど他の自治体では行っていない情報発信の取り組みは高く評価できる。県民税のロゴシールは、受益者に税金の使途を認識してもらうのに良い手段であると考えられる。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	1	流倒木撤去事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
2	2	危険木伐採事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.0	B
3	2	災害からライフラインを守る 事前伐採事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.5	A
4	3	森林環境教育推進事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.8	A
5	4	木材とふれあう場づくり推進 事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.3	B

令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

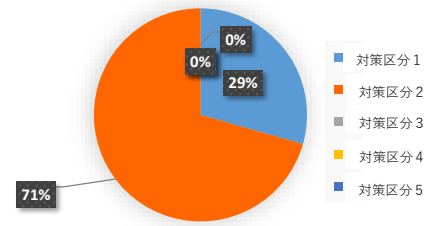
市町名	大紀町	三重県
人口(人)	8,068	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	7.8%	12.4%
森林面積(ha)	21,131.83	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	20,406.17	348,833.49
森林率(%)	91.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	13.2	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	1	溪流倒木等処理事業	2,354,000	2,354,000	2,354,000					
2	2	生活環境林整備事業	5,647,895	5,646,000		5,646,000				
3		みえ森と緑の県民税市町交付金積立事業	4,976,000	4,976,000						4,976,000
				0						
				0						
				0						
				0						
計			12,977,895	12,976,000	2,354,000	5,646,000	0	0	0	4,976,000

3. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	14.38	5,000,600	5,000,000	間伐等(災害緩衝林一体型)
森林再生力強化対策事業	1068	626,144	626,144	植栽タイプ
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0	0	0	

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	大紀町は、大台山系に連なる山岳地帯に属しており峻険な地形で、本町面積23,332haのうち森林面積が21,133haとなっており、91%占めている。そのうち13,900haと人工林率は68%に達しており、人工林地帯である。本町では、基本方針1の「災害に強い森林づくり」を強力に進める為、生活環境林整備事業と溪流倒木等処理事業を実施し、町民生活の安全安心を向上させていく。また、非常時における森林内の危険木流出による被害拡大を軽減させる為、河川の上流部に位置する大紀町としての役割を果たすことで、県民全体の安全安心に繋げていく。水道水源林において、自主的な間伐を促進し、安心・安全な水道水の確保する為に、水道水源林の町有林化を行っていく。
事業実施により期待される効果	事業実施により、通常時、住民が利用する生活道路や、生活に直結している人家への安全性が向上したこと、非常時における避難や、被害拡大防止の観点からも、住民の安全安心を向上することができた。
情報発信への取組	事業実施について、森林所有者や地区代表者に税事業での実施を説明している。 事業実施中は、県民税職を事業箇所にて、県民税での事業実施をPRしている。 事業完了後、当年行った事業においてPRポスターを製作し、庁舎掲示及び大紀町HPにアップし税事業のPRを行う。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・ 溪流倒木等処理・危険木処理は、県民税の目的にマッチしており、またその内容が事前・事後で紹介されているHPも好印象である。幅広い地域で細やかな選木が行われて処理が実施されたことが読み取れる。他の用途として、次世代育成なども検討されると良いのではないかと考える。ただし、当該税金を使わずに別途取り組みがある場合は、このコメントは無視していただきたい。</p> <p>・ 大紀町のホームページに「みえ森と緑の県民税」のページを作成していることは良い試みではと思う。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	1	溪流倒木等処理事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.0	B
2	2	生活環境林整備事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B

令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

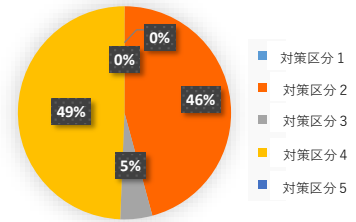
市町名	南伊勢町	三重県
人口(人)	11,461	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	6.1%	12.4%
森林面積(ha)	20,629.37	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	20,429.98	348,833.49
森林率(%)	85.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	0.2	10.1

* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2 : 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	危険木除去事業	6,050,000	6,050,000		6,050,000				
2	3	森林環境教育事業	642,950	641,000			641,000			
3	4	南勢保育園・南伊勢図書室木製備品購入事業	6,523,000	6,523,000				6,523,000		
				0						
計			13,215,950	13,214,000	0	6,050,000	641,000	6,523,000	0	0

3. 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	当町の森林・林業を取り巻く情勢として、総土地面積の約85%(20,630ha)が森林で覆われているにもかかわらず、林業就業者は27人しかおらず、林業者が極めて少ない状況となっています。森林の整備についても、過去10年間に行われた間伐面積は約250haで、整備が行われていない森林が大半であり、森林所有者の関心が低くなっていることが窺えます。そのような状況の中、森林について興味関心が持てるように、公共施設周辺や通学路・避難道等にかかる危険木の除去や、森林環境教育事業による森や海を大切に思う子どもの育成、子どもや町民が森林や木材についてふれあいながら学ぶことができる場づくりなど、町民が将来にわたって安全安心に過ごしながら森や緑と関わる機会を創出することを目的に県民税を活用する。
事業実施により期待される効果	危険木の除去については、自然災害等による倒木を未然に防ぐことで、安全安心して暮らすことに寄与している。 森林環境教育事業については、樹木について知識を得ることや木製品が身近にあることで森と緑の大切さを理解し、森林について考えるきっかけづくりへの寄与を期待している。 南勢保育園・南伊勢図書室木製備品購入事業については、日常的に木材製品とふれあうことにより、木製品のあたたかみを感じることで保育環境の向上につながると考えている。
情報発信への取組	町の広報誌やHP等への掲載することにより、情報発信を行いました。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・樹木カードを使った教育や木製湯玉の配布などは、学生及び家族にも森林への関心呼び起こす良い取り組みであると考えられる。危険木の排除と木製品の設置などの取り組みも、受益者が多く良いと考えられる。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	危険木除去事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
2	3	森林環境教育事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.0	B
3	4	南勢保育園・南伊勢図書室木製備品購入事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B

令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

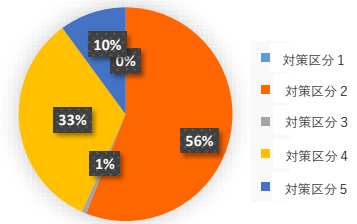
市町名	名張市	三重県
人口(人)	76,729	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	12.4%	12.4%
森林面積(ha)	6,835.43	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	6,835.43	348,833.49
森林率(%)	53.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	13.3	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別別事業費割合 ★①-⑤



2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円)(当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	危険木伐採事業	3,985,100	3,985,100		3,985,100				
2	2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	633,550	633,550		633,550				
3	2	人家裏危険木伐採事業	2,220,000	2,220,000		2,220,000				
4	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	4,708,000	1,177,000		1,177,000				
5	3	森林環境教育推進事業	100,000	100,000			100,000			
6	4	県産材に親しむことができる木育推進事業	3,855,500	3,855,500				3,855,500		
7	4	学校林整備事業	900,000	900,000				900,000		
8	5	森林公園等環境活用整備事業	840,000	840,000					840,000	
9	5	桜並木保全管理事業	300,000	300,000					300,000	
10	5	無形民俗文化財保全事業	300,000	300,000					300,000	
計			17,842,150	14,311,150	0	8,015,650	100,000	4,755,500	1,440,000	0

3. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	13.82ha	4,125,000	4,125,000	環境林・特定水源地域整備事業の実施(間伐) 名張市 中知山、矢川 地内
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.5ha	4,708,000	1,177,000	名張市 夏見 地内

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
<p>名張市は、周囲を山々に囲まれた山間盆地であり、林野率は52.7%、人工林率は65.0%で、森林の主体をなす私有林においては、5ha未満の所有者が全体の52.1%を占めている。特に、南部は森林資源が豊富で、かつては優良な木材を産出する地域であったが、最近の社会情勢の変化に伴い伐採適齢期を過ぎても放置されている森林が増加し、里山としての利用すらほとんどなくなっている。</p> <p>しかし、森林の持つ多様な公益的機能は市民にとってかけがえのない財産であり、名張市が目指そうとする「福祉の理想郷づくり」には欠かせない重要な要素であることから、森林の機能低下を防ぎその向上を図るため、災害に強い森林づくりとして森林整備を進めるとともに、市民が森と緑に触れ合う機会を創出し、森を育む人及び学びの場づくりを進める。</p>
事業実施により期待される効果
<p>「災害に強い森林づくり」に沿った事業の実施により、あまり手入れされることがなく放置され、市民の生活圏を脅かしていた森林が整備されたことで、市民がより安心して暮らせるようになる。また、森林への関心が高まる今日、「県民全体で森林を支える社会づくり」に沿った事業の実施により、森林環境教育を推進し、次代を担う子どもたちが森林や緑に対する関心を深めることで森林の重要な役割に気付くきっかけづくりとなる。</p>
情報発信への取組
<p>事業内容やその成果については広報誌及びHP、ラジオ放送により、広く市民に周知している。また、事業実施現場にはのぼり旗や看板を設置することで、みえ森と緑の県民税の存在を最大限周知できるよう努めた。保育・幼稚園、小学校関連の事業については、保護者だより等で事業実施を周知するとともに財源にはみえ森と緑の県民税が活用されていることを記載した。</p> <p>その他、令和2年度に実施した「森と人をつなぐ憩いの空間作り事業」で名張市役所1階に木製の授乳室を設置し、付近にみえ森と緑の県民税に関するパネルを展示することで、市庁舎を訪れる大勢の方に向けて県民税の周知に努めた。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

- ・バイオマス利用促進事業について公益性の観点からご検討ください。
- ・バイオマス利用促進事業について、市民の関心を高めるために広報をご検討ください。
- ・山と川が身近な特色に加え、新興団地の住民も参画できるような、様々な市民団体に補助金を交付するという形を取り入れ、県民税の活用が理想的な市であると認識しています。さらなる工夫で活用していただきたい

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	危険木伐採事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
2	2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	3.0	B	3.0	B	2.3	C	2.0	C
3	2	人家裏危険木伐採事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B
4	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
5	3	森林環境教育推進事業	3.3	B	2.7	C	3.3	B	2.7	C
6	4	県産材に親しむことができる木育推進事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
7	4	学校林整備事業	3.3	B	3.3	B	3.0	B	2.7	C
8	5	森林公園等環境活用整備事業	3.7	A	3.3	B	3.3	B	3.0	B
9	5	桜並木保全管理事業	3.7	A	3.0	B	3.3	B	3.0	B
10	5	無形民俗文化財保全事業	3.7	A	3.0	B	3.3	B	3.3	B

令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

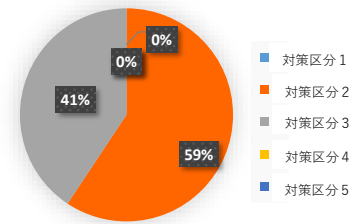
市町名	伊賀市	三重県
人口(人)	86,306	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	11.2%	12.4%
森林面積(ha)	33,952.00	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	32,599.00	348,833.49
森林率(%)	61.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	12.1	10.1

* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2 : 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	みんなの里山整備活動推進事業	6,052,000	6,052,000		6,052,000				
2	2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	2,803,680	2,803,680		2,803,680				
3	3	木づかい木育推進事業	2,447,287	2,447,287			2,447,287			
4	3	伊賀の森っこ育成推進事業	2,845,392	2,845,392			2,845,392			
5	3	地域の森と緑のつながり支援事業	80,000	80,000			80,000			
6	3	森のやすらぎ空間整備事業(伊賀の木活用人材育成)	700,000	700,000			700,000			
7	-	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	8,097,641	8,097,641						8,097,641
計			23,026,000	23,026,000	0	8,855,680	6,072,679	0	0	8,097,641

3. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	269箇所、118.7ha	37,268,000	37,268,000	現地調査及び間伐実施
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	当市の森林面積率は、61%であり、周囲が森林に囲まれた立地にある。そのような背景を踏まえ、災害に強い森林づくりと住民全体で森林を支える仕組みづくりの両立を図ることが必要であることから、暮らしに身近な森林を住民自らの手で整備する事業を推進するとともに、木育を始めとして森林や緑を大切に思う人づくりに繋がる教育活動を支援する事業を推進している。
事業実施により期待される効果	みんなの里山整備活動推進事業では、事業を通して地域の山林として位置づけることで、維持管理する方向性が地区等で広がっている。未利用間伐材バイオマス利用推進事業においても、災害に強い森林づくりのみならず、森林所有者が間伐作業へ携わる機会の増大に貢献している。木育関連事業で実施したアンケートでは、木のぬくもりの良さについて回答する意見も見受けられ、森林の持つ重要性についての周知が進んでいる。
情報発信への取組	みえ森と緑の県民税の認知度をより高めるため、市内で放映されるCATV(伊賀上野ケーブルテレビ)を活用して、みえ森と緑の県民税の目的や必要性を周知した。伊賀市では、木育から森林整備まで幅広く事業展開している市町交付金事業の全事業について紹介し、中でも、「森のやすらぎ空間整備事業(伊賀の木活用人材育成)」の紹介では、生徒がプレゼンテーションしている様子の写真や完成品の写真、配置箇所等を説明し、県民税を身近に感じられる内容で周囲とした。また、昨年度に続き今年度も新型コロナウイルス感染症対策の観点から、市内の農産物等イベントへの木育ブース出展による情報発信活動は中止となったが、みえ森と緑の県民税に関するアンケート等を実施したほか、伊賀市役所庁舎内にて、木使いの重要性を伝えるパネル展示、みえ森と緑の県民税に関するパネル展示を三重県伊賀農林事務所と共同で実施し、森林の重要性とともに県民税の周知に努めた。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<ul style="list-style-type: none"> ・多くの事業が団体への補助金となっており、全体に効率性の面で疑問が残る運用になっています。 ・事業2では一事業者への補助額が突出しており公益性に疑問が残ります。 ・継続してきた赤ちゃんのスプーン等の配布ができなくなったことは残念ですね。お箸づくりは木育と食育も兼ねて子どもたちに愛着をもたらすと思います。様々な年代で地域住民が主体となる事業をこれからも継続していかれることを期待します。 	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	みんなの里山整備活動推進事業	3.7	A	2.7	C	3.0	B	3.3	B
2	2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	3.0	B	2.7	C	2.7	C	3.0	B
3	3	木づかい木育推進事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
4	3	伊賀の森っこ育成推進事業	3.7	A	3.0	B	3.0	B	3.0	B
5	3	地域の森と緑のつながり支援事業	2.7	C	3.0	B	3.0	B	2.7	C
6	3	森のやすらぎ空間整備事業 (伊賀の木活用人材育成)	3.3	B	2.7	C	3.0	B	3.0	B

※再評価の結果、修正となった事業

伊賀の森っこ育成推進事業

<効率性> 事前評価 2.7点C → 再評価 3.0点B

地域の森と緑のつながり支援事業

<効率性> 事前評価 2.7点C → 再評価 3.0点B

令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

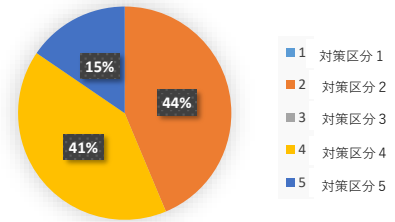
市町名	尾鷲市	三重県
人口(人)	16,567	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	9.1%	12.4%
森林面積(ha)	17,703.01	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	14,933.86	348,833.49
森林率(%)	92.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	6.0	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	人家裏危険木伐採事業	829,000	829,000		829,000				
2	2	矢浜公園ほか整備事業	4,543,000	4,543,000		4,543,000				
3	4	木とふれあう学校環境づくり	177,320	177,320				177,320		
4	4	尾鷲中学校学習机・椅子整備事業	4,844,400	4,844,400				4,844,400		
5	5	中村山公園整備事業	1,903,000	1,903,000					1,903,000	
計			12,296,720	12,296,720	0	5,372,000	0	5,021,720	1,903,000	0

3. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	2.14ha	3,300,000	3,300,000	間伐等(災害緩衝林一体型)
森林再生力強化対策事業	365m	520,530	520,530	獣害防止施設設置等整備
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	本市は面積の約90%を森林が占め、居住地のすぐ側に自然と触れ合える環境に恵まれている。古くから林業、漁業、農業など一次産業を中心としたまちとして歩んできた歴史があり、学校でも地域の産業を学ぶ授業でこれら地場産業の紹介がなされ、また、山・川・海をフィールドとした体験学習が実施されるなど、地域の歴史と循環型社会の展望を学ぶ場として森林は切っても切り離せない大切な役割を果たしている。 一方で、近年では災害による被害が拡大傾向にあることから、災害に強い森林づくりは大変重要なものと考えている。危険木等についても伐採したままにするのではなく、園児や児童、生徒への木育の機会を設けるツールとして利用する方法を考えると共に、災害の未然防止と森林教育の更なる充実を図る観点から事業の選定を実施している。
事業実施により期待される効果	人家裏や公園の危険木伐採は、災害に強い町づくりの推進に一定の効果が得られたと考えており、この点については、事業実施後の住民の反応や声をみても、いずれも好意的なものであったため、安心安全の確保に効果があったと感じている。また、市内中学校へ地元産材で作った机、椅子を導入することにより、地元産材がどのような工程を経て机、椅子になったかを学習する良い機会になったと感じている。
情報発信への取組	令和3年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、体験や交流のイベントはほとんど開催できなかったため、ホームページや広報誌での情報発信がほとんどであったが、危険木除去等では伐採した箇所に看板を設置する等し、市内小学校への天板の設置、市内中学校への机、椅子の導入の際に、ロゴマークシールの貼り付けを行ったため、一定の周知は図れたと思う。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・事業の実施個所が細かく分散しており、多くの受益者が生まれていると推察される。子供が自分たちで伐採した間伐木を使って木工体験をする取り組みには、貴重で熱心な取り組みと感じられた。県民税のロゴシールは、受益者に税金の用途を認識してもらうのに良い手段であると考えられる。</p> <p>・市の広報で「みえ森と緑の県民税」の実績と計画を市民に周知している取組は非常に良い。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	人家裏危険木伐採事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
2	2	矢浜公園ほか整備事業	3.8	A	3.8	A	3.3	B	3.3	B
3	4	木とふれあう学校環境づくり	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.3	B
4	4	尾鷲中学校学習机・椅子整備事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.3	B
5	5	中村山公園整備事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B

令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(令和4年度版三重県市町要覧による)

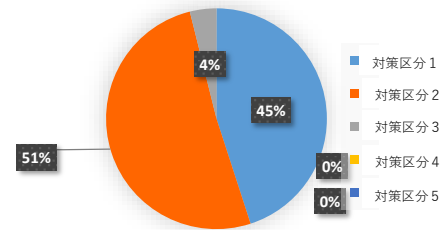
市町名	紀北町	三重県
人口(人)	13,934	1,755,415
年少人口割合(%) * 1	7.7%	11.8%
森林面積(ha)	229.34	372,030.12
民有林面積(ha) * 2	18,009.40	348,559.79
森林率(%)	89.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	52.1	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合★①-5、②-5



2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)					基金積立	
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4		対策区分5
1	1	河川周辺森林立枯木整備事業	4,166,132	4,166,132	4,166,132					
2	2	危険木伐採事業	4,658,900	4,658,900		4,658,900				
3	2	集落周辺森林(里山)整備事業	73,600	73,600		73,600				
4	3	森林環境教育活動支援事業	359,416	359,416			359,416			
5		基金積立	3,348,952	3,348,952						3,348,952
計			12,607,000	12,607,000	4,166,132	4,732,500	359,416	0	0	3,348,952

3. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	7.26ha	1,008,771	1,008,771	等高線並べの間伐による緩衝林化
森林再生力強化対策事業	3,773m	857,634	857,634	鳥獣害防護柵新設・補修
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0	0	0	

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	紀北町は、年間を通じて温暖で降水量が多いという育林に適した気候条件に恵まれ、森林面積(22,976ha)は町総面積の約90%を占め、古くから林業が盛んに行われてきたが、林業を取り巻く厳しい情勢の中で、手入れが行き届かない森林が増加したことで森林の機能低下が進んでいる。このため、町ではこれまで森林の再生と森林の持つ多面的機能の持続的な発揮に向け、間伐などの森林整備や林道の整備、人家裏危険木の伐採、公共施設への木材利用、小中学生等への林業のPRなどを実施し、多様で健全な森林の育成を行ってきた。今後も県民税を活用し、人家裏危険木の伐採や地元材の利用促進、里山整備、森林環境教育などを実施することで森林の持つ多面的機能の重要性を広く町民に理解してもらう機会を創出し、暮らしに身近な森林の整備を進め、地域の生活環境の向上を図る。
事業実施により期待される効果	河川周辺森林立枯木整備事業では、立枯木を伐採してしまうことにより、大雨が降った際に下流域の橋梁等を損傷させてしまうリスクを減らすことができた。危険木伐採事業においては、事業実施主体である各区の森林管理の意識の向上が見られ、補助金活用の要望が増加した。
情報発信への取組	紀北パーキングエリア内の始神テラスの一角に展示スペースを設け事業成果を示したパネル展示や、ノベルティの配布を行った。また、町民向けの行政放送テレビチャンネルで県民税について取り扱いを行い、事業実施地にはPR用の木製標柱を設置した。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・豪雨による堆積土砂の排除など、必要な取り組みであり高く評価できる。ケーブルテレビによる放映も望ましい情報発信の在り方である。間伐体験も、他に代えがたい貴重な経験となり、後の森林への関心を高めてくれるものと期待できる。多様な情報発信の手段が用いられており、熱心が伺える。</p> <p>・実施主体を自治体とすることで、「みえ森と緑の県民税」の周知並びに実施後の管理体制の整備も推進されると思われる。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	1	河川周辺森林立枯木整備事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.3	B
2	2	危険木伐採事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.3	B
3	2	集落周辺森林（里山）整備事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.3	B
4	3	森林環境教育活動支援事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.3	B

令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

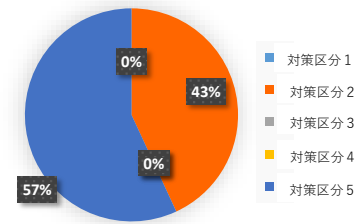
市町名	熊野市	三重県
人口(人)	16,113	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	9.9%	12.4%
森林面積(ha)	32,935.18	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	29,621.62	348,833.49
森林率(%)	88.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	9.8	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円)(当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	小・中学校危険木伐採・枝切事業	10,252,000	10,252,000		10,252,000				
2	5	森とふれあいの場拠点づくり事業	13,538,480	13,538,480					13,538,480	
				0						
				0						
計			23,790,480	23,790,480	0	10,252,000	0	0	13,538,480	0

3. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	4.11ha	4,404,400	4,404,400	災害緩衝林実施個所周辺の調整伐
森林再生力強化対策事業	1,233m	889,623	889,623	獣害防護柵設置
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	熊野市の地勢は内陸に向かうに従って紀伊山地の急峻な山地となり、森林面積は総面積の88%を占めている。また、民有林面積は29,628haと全森林の約90%を占め、うち人工林は22,921haと県下でも有数の林業地域である。しかしながら、林業を取り巻く環境は木材の長期的な低迷に加え、担い手の減少、林業従事者の高齢化、生産基盤の立ち遅れ等が極めて厳しく、このまま推移すれば森林の整備水準の低下等により公益的機能が十分に発揮されないなど、住民生活への影響が懸念されている。そのため、「災害に強い森林づくりと環境林の保全」という熊野市森林・林業ビジョンの基本方針の1つに沿って、防災機能の強化による安全・安心の実現、里山林整備と奥地天然林や溪畔林の保全、身近な森林の恵みを活用する環境づくりなど、森林が与えてくれるさまざまな恩恵を評価した上で、森林と積極的に付き合っていく取組を展開していく。令和4年度については、多くの利用者が継続して利用している森林公園に対し、樹木育成のための下刈りや支障木伐採を行うとともに、地元特有のクマノザクラを新植・保育することで魅力を向上させ、多くの利用者・来訪者に緑を身近に感じてもらう環境づくりに取り組んだ。また、市内の小・中学校の校庭において、倒木のおそれがある危険木を伐採することにより、児童生徒の安全・安心の確保に取り組んだ。
事業実施により期待される効果	市が公益性の判断で実施する事業には特定機能の維持を図るもののほか、生活道路や施設の利用者など多くの人々に効果を及ぼすものが多く、県民税事業を行うことにより、安全・安心に地元の森林や自然とふれあう環境を整備することができ、市民だけでなく市への来訪者にも恩恵を受けてもらう。
情報発信への取組	事業実施の際にはのぼりや看板によって県民税のPRを行っているが、広い市域の中にあって事業箇所が点在しており、利用者の目にふれる機会が少ないことから、市のホームページに事業の計画と実績の紹介へ市の玄関口であるJR熊野市駅や市街地に近い市文化交流センターにおいて例年パネル展示を行っている。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・森林率が高く、高齢化も著しい地域特性でありながら、人口の倍以上の観光者が訪れる地域でもありますから、重要な観光資源の保全にしっかりと取り組まれたら良いと思います。熊野市の名前のついたクマノザクラが注目されているので、市全体で景観を考慮したまちづくりが計画されることを期待します。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	小・中学校危険木伐採・枝切事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
2	5	森とふれあいの場拠点づくり事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C

令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報(平成30年度版三重県市町要覧による)

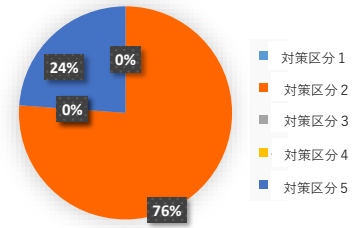
市町名	御浜町	三重県
人口(人)	8,800	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	11.0%	12.4%
森林面積(ha)	5,691.76	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	5,598.49	348,833.49
森林率(%)	65.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	20.4	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	学校危険木伐採事業	5,747,500	5,747,500		5,747,500				
2	2	町道危険木伐採事業	970,860	970,860		970,860				
3	5	森林公園等環境整備事業	2,106,500	2,106,500					2,106,500	
				0						
				0						
				0						
				0						
計			8,824,860	8,824,860	0	6,718,360	0	0	2,106,500	0

3. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	<p>本町は、県南部に位置し、東部は雄大な太平洋熊野灘に面した海岸線沿いには、比較的平坦な低地が広がりますが、内陸部では山岳地帯を形成しており、人工林率は71%と県平均の62%を上回っており、かつては積極的に植林がされてきた地域です。しかし林業経営の悪化などから森林への関心は薄れ、適切な整備がされず森林が持つ公益的機能が十分に発揮している状態ではない森林も見受けられます。</p> <p>このことを踏まえ、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、小中学校内や町道沿線の危険木の伐採や枝下ろしを行うことで町民の生活環境等の保全や向上を図り、「災害に強い森林づくり」を進めます。また、不特定多数の人が集まる町内の地元産品販売所等への木製品配置を支援するとともに、森林公園等のフィールド整備を行うことで住民が木や緑とふれあう環境を身近なものにし、木の良さや木を使うことが森林整備につながることの重要性を広くPRしていく「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めます。</p>
事業実施により期待される効果	<p>町民や来訪者に利用される遊歩道及び公園を整備することで、多くの人が森林や緑と触れ合う機会をつくることになりました。寺谷公園を遠足先とする小学校もあり、また家族の利用者も多いため、地域の子供たちが森林にふれる環境をつくることになりました。</p>
情報発信への取組	<p>町民や施設利用者へ県民税を活用して整備が行われていることを周知するため、作業期間中に県民税ののぼり等の設置、庁舎内でのパネル掲示を行った。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・どの事業も、委託事業で、『（3社以上で）見積もり合わせを行い委託』とあるが、入札ではなく複数の事業者の存在うかがえる。報告者が初めての方なのか、掲載された写真も効果がわかりにくいので、評価がしづらい点がありました。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	学校危険木伐採事業	3.7	A	3.0	B	3.0	B	3.0	B
2	2	町道危険木伐採事業	3.3	B	2.7	C	3.0	B	2.7	C
3	5	森林公園等環境整備事業	3.3	B	2.7	C	3.0	B	2.7	C

令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報:「三重県市町要覧(令和元年度版)」、「平成30年度版森林・林業統計」による

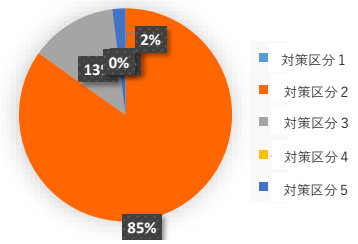
市町名	紀宝町	三重県
人口(人)	10,588	1,782,190
年少人口割合(%) * 1	11.8%	12.4%
森林面積(ha)	6,073.00	372,352.55
民有林面積(ha) * 2	6,027.34	348,833.49
森林率(%)	76.0%	64.0%
都市公園面積(m ² /人口) * 3	7.6	10.1

* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別別事業費割合★①-5、②-5



2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	生活環境林整備事業	13,323,090	5,799,090		5,799,090				
2	3	森と緑の環境教育事業	900,000	900,000			900,000			
3	5	クマノザクラ整備事業	135,520	135,520					135,520	
4		みえ森と緑の県民税市町交付金積立金	1,109,390	1,109,390						1,109,390
				0						
				0						
計			15,468,000	7,944,000	0	5,799,090	900,000	0	135,520	1,109,390

3. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要	備考
流域防災機能強化対策事業	11.85	7,000,400	7,000,000	間伐事業	産業: 林業振興費: 委託料 : みえ森と緑の県民税市町交付金事業業務委託料

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	<p>紀宝町は古くから熊野川を利用した木材の集散地として林業生産活動が活発であったこともあり、森林面積は紀宝町全体面積の76%を占めており、民有林における人工林面積4,731ha(人工林率78%)であるが、主伐期を迎えた森林が全体の82%に達しているものの林業の採算性の悪化などから森林への関心が薄れ、適正な管理がされない森林が増えてきており、今後これらの森林整備に向けた対応が必要である。</p> <p>その上で、森林環境譲与税を財源とした森林施策とのすみ分けを行いながら、荒廃した身近な里山の整備を進め、地域住民が安全に利用できる環境を整えるとともに、森林整備の必要性や森づくりへの理解を深めるための講演会やワークショップを開催するなど、町の森林施策を展開していくための財源としてみえ森と緑の県民税を活用していく。</p>
事業実施により期待される効果	<p>当町が公益性の判断のもと実施する事業においては、特定機能の維持を図るもののほか、生活道路や施設の利用者など多くの人々に影響を及ぼすものが多く、町民のみならず周辺の県民が恩恵を受けている。</p>
情報発信への取組	<p>各種集客イベントの際、県民税のPRをパネル展やチラシの配布によりおこなっている。登り旗の掲示も行った。その他、町ホームページ、役場庁舎内においてのパネル展の実施など。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・2番の事業について、実施主体が教育委員会だからか、報告内容が、十分把握されていないように感じました。事業の目的に、教育内容の効果を挙げているのに、各行事の参加人数、アンケート調査の内容と結果、参加者の感想がなく、まるで、教育委員会に予算を与えただけの内容に感じます。報告のあり方に再考をお願いします。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	生活環境林整備事業	3.0	B	3.3	B	3.0	B	3.0	B
2	3	森と緑の環境教育事業	2.7	C	3.0	B	2.7	C	2.7	C
3	5	クマノザクラ整備事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	2.7	C

※再評価の結果、修正となった事業

森と緑の環境教育事業

<効率性> 事前評価 2.7点C → 再評価 3.0点B